



2015年5月26日(火)金沢歌劇座公演より
撮影:宮下裕行

COVER PHOTO

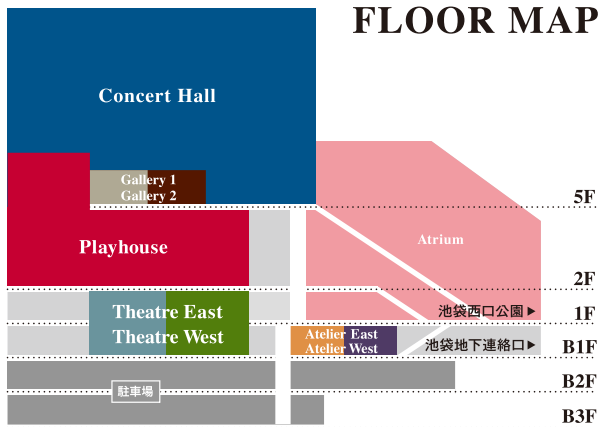
全国共同制作プロジェクト
東京芸術劇場シアターオペラvol.9

モーツァルト／歌劇『フィガロの結婚』～庭師は見た!～ 新演出
(全4幕・字幕付 原語&一部日本語上演)

コンサートホール 10月24日(土)・25日(日)

指揮&総監督:井上道義
演出:野田秀樹

25th Anniversary
東京芸術劇場



1F 東京芸術劇場ボックスオフィス

(チケット・総合案内カウンター)
予約 | **0570-010-296**
お問合せ | (休館日を除く10:00~19:00)

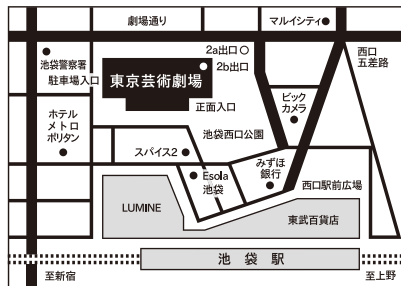
5F 託児サービス だっこルーム

東京芸術劇場でご鑑賞のお客様の
お子様をお預かりします。(要予約)

お問合せ | **03-3981-7003**
(平日10:00~17:00)

B2F・B3F 東京芸術劇場駐車場

利用料金 | 300円/30分
営業時間 | 7:00~24:00
お問合せ | **03-6914-0019**



〒171-0021 東京都豊島区西池袋1-8-1

開館時間 | 9:00~22:00 (休館日を除く)

お問合せ | **03-5391-2111**

JR、東京メトロ、東武東上線、西武池袋線池袋駅西口より
徒歩2分。池袋駅地下通路の2b出口に直結しています。

芸劇 BUZZ vol.12 2015年7・8・9月号

《編集・発行》東京芸術劇場(公益財団法人東京都歴史文化財団) 《編集・デザイン》COM Works 《印刷》(株)技芸堂

平成27年6月25日発行

芸劇 BUZZ

TOKYO METROPOLITAN THEATRE EVENT INFORMATION

vol.12 2015
7.8.9.



※特集・PICKUP

東京芸術劇場 開館25周年
芸劇フェスティバル

海外オーケストラシリーズ

指揮 トッガン・ソビエフ

ベルリン・ドイツ交響楽団

指揮 グスターボ・ヒメノ

ロイヤル・コンサートヘボウ管弦楽団

指揮 アンドレス・オロスコ=エストラダ

フランクフルト放送交響楽団

指揮 有田正広

クラシカル・プレイヤーズ東京 演奏会

指揮 ヴァレリー・ポリャンスキー

ロシア国立交響楽団

作 野田秀樹 演出 マルチェロ・マーニ

「障子の国のティンカーベル」

オックスフォード大学演劇協会(OUDS) 来日公演

「ロミオとジュリエット」

原作 松尾スズキ 脚本・演出 ソンエ征爾

「気づかいルーシー」

集まれ! 池袋みんなの大道芸

世界報道写真展2015

近藤良平・コンドルズ「にゅ〜盆踊り」 ほか

荻田 伍 新館長インタビュー

※CALENDAR

7月・8月・9月

芸劇eyes ほか

ベッド&メイキングス「墓場、女子高生」／ミュージカル「100万回生きたねこ」／

カタルシツ「語る室」／糖の国とよはし芸術劇場PLAT Produce「父よ!」

東京芸術劇場

芸術監督

野田秀樹

対談 建築家

伊東豊雄

〈東京芸術劇場パートナー協賛企業・団体 ご芳名〉東京芸術劇場の年間事業運営に賛同し、ご支援してくださっている方々です。

アサヒグループホールディングス株式会社
Bloomberg L.P.
西池袋熱供給株式会社

株式会社資生堂
明光義塾
.....

凸版印刷三幸会
レンゴー株式会社
東京地下鉄株式会社
立教大学

丸茂電機株式会社
トヨタ自動車株式会社
住友生命保険相互会社
三精テクノロジーズ株式会社
株式会社松田平田設計
ホテルメトロポリタン
株式会社フジテレビジョン
株式会社WOWOW
東京臨海熱供給株式会社
ソニー銀行株式会社
キヤノン株式会社

ヤマハサウンドシステム株式会社
株式会社TBSテレビ
株式会社松村電機製作所
渡邊建設株式会社
香山壽夫建築研究所
HOTEL URBAN(ホテルアーバン)
国際興業株式会社
野村證券株式会社
ミュージックスタジオ・フォルテ
オルガノ株式会社
株式会社マクロスジャパン

東武鉄道株式会社
株式会社奥村組
サントリーホールディングス株式会社
養老乃瀧株式会社
東日本旅客鉄道株式会社 池袋駅
株式会社イーラス
読売新聞 東京本社
常盤興業株式会社
株式会社帝国ホテル
株式会社ルミネ 池袋店

(2015年6月1日現在)

※東京芸術劇場では、パートナー協賛の申し込みを随時受け付けております。詳細は、公式HPをご覧ください。広報営業係担当まで直接お問合せください。 Tel. 03-5391-2117



2009年の野田秀樹芸術監督就任、2012年の全館リニューアル・オープンを経て、ますますプログラムをパワーアップさせる“芸術”。開館25周年を迎える今シーズンは＜芸術フェスティバル＞を開催、多彩なプログラムをお届けします！

芸術劇場開館25周年の節目の年、その名も＜芸術フェスティバル＞開催！

東京芸術劇場は、2009年の野田秀樹氏芸術監督就任、そして2011-12年にかけて行われた施設改修リニューアルを経て、舞台芸術の創造発信拠点として、積極的に音楽・演劇・ダンス事業等に力を入れてきました。さまざまなワークショップやレクチャーの開催、バックステージ・ツアーやオルガン講座、立教大学と連携してのシリーズ講座「池袋学」などの教育普及プログラムや、「集まれ！池袋みんなの大道芸」「回遊美術館」など、地域連携プログラムにも積極的に取り組んでいます。

2015-16年の今シーズン、生まれ変わった芸術劇場の“現在地”をさらに広くみなさまに知っていただき、また感じていただくために、6月から12までの期間、劇場自らが企画・創造・発信する公演事業を＜芸術フェスティバル＞と銘打って展開します。

折しも今秋、東京芸術劇場は25周年という節目の時を迎えます。四半世紀という時の流れの中で、東京芸術劇場もその役割や活動内容を、少しずつ変容させてきました。今年開催する＜芸術フェスティバル＞は、劇場としての主たる活動を「フェスティバル」として展開し、よりクリエイティブかつ自由で風通しの良い劇場を目指すという思いをみなさまに伝え、また共に分かち合うためのものです。プロアマを問わず、多くのクリエイター達そして観客の皆様によって支えられてきた東京芸術劇場が、今後いっそう多くの方々と結びつき、可能性に満ちた舞台芸術のあり方を共に模索していきたい。よりクリエイティブで、活気に満ち、様々な個性的な表現に出会える場としての劇場空間をみなさまと共に作っていききたい……その思いのかたちこそが＜芸術フェスティバル＞です。

パフォーミング・アートの醍醐味を一挙に味わえる充実のラインアップ！

＜芸術フェスティバル＞は、6月27日から始まる「cocoon」公演を皮切りに開幕し、演劇プログラムは「障子の国のティンカーベル」、オックスフォード大学演劇協会(OUDS)「ロミオとジュリエット」、「気づかいルーシー」、タデウシュ・カントール生誕100年記念企画、ルーマニア国立ラドゥ・スタンカ劇場来日公演「ガリバー旅行記」「オイディプス」、Roots.vol.3「書を捨てよ町へ出よう」がラインアップされています。また、音楽プログラムは、「芸術&N響ジャズ～BEBOP BERNSTEIN～」 「クラシカル・プレイヤーズ東京 演奏会」 「ランチタイム&ナイトタイム・パイプオルガンコンサート」さらに秋のコアマンズ期には、シアターオペラ「フィガロの結婚」、海外オーケストラシリーズ「ベルリン・ドイツ交響楽団」「ロイヤル・コンセルトヘボウ管弦楽団」「フランクフルト放送交響楽団」、開館25周年記念コンサート「ジョワ・ド・ヴィーヴル

～生きる喜び」、エル・システマ創設40周年記念「エル・システマ・フェスティバル 2015 in TOKYO」などを開催します。

舞台芸術は、性別や世代、地域や国籍を超えて、様々な人にアクセス可能な文化的営みです。劇場という空間が、いつも活力に満ち、想像力に働きかけ、そして生きる喜びや勇気を分かち合える場であるために…そんな思いと共に満を持して＜芸術フェスティバル＞をお届けします。

Concert Hall			
7月9日 ランチタイム・パイプオルガンコンサートVol.112 オルガン：柳澤文子	10月15日 ナイトタイム・パイプオルガンコンサートVol.12 オルガン：小林英之	11月12日 海外オーケストラシリーズⅡ ロイヤル・コンセルトヘボウ管弦楽団 指揮：グスターボ・ヒメノ ピアノ：ユジャ・ワン 管弦楽：ロイヤル・コンセルトヘボウ管弦楽団	11月19日 海外オーケストラシリーズⅢ フランクフルト放送交響楽団 指揮：アンドレス・オロスコ＝エストラーダ ピアノ：アリス＝紗良・オット 管弦楽：フランクフルト放送交響楽団
7月10日 芸術&N響ジャズ～BEBOP BERNSTEIN～ 指揮：ジョン・アクセルロッド クラリネット：大島文子 サクソフォン四重奏：トルヴェール・クワルテット 管弦楽：NHK交響楽団	10月24日～25日 シアターオペラvol.9「フィガロの結婚」～庭師は見た！～ 指揮：総監督：井上道義 演出：野田秀樹 合唱：新国立劇場合唱団 管弦楽：読売日本交響楽団	11月21日 エル・システマ・フェスティバル2015 in TOKYO テレサ・カレーニョ・ユース・オーケストラ・オブ・ベネズエラ 指揮：クリスティアン・バスケス 管弦楽：テレサ・カレーニョ・ユース・オーケストラ・オブ・ベネズエラ	12月16日 バイプオルガンコンサートVol.20 クリスマス・コンサート オルガン：小林英之 ほか
7月12日 クラシカル・プレイヤーズ東京 演奏会 指揮：有田正弘 フォルテピアノ：仲道郁代 管弦楽：クラシカル・プレイヤーズ東京 ※ソロコンサートマスター：豊嶋泰嗣	10月30日 海外オーケストラシリーズⅠ ベルリン・ドイツ交響楽団 指揮：トウガン・ソヒエフ ヴァイオリン：神尾真由子 管弦楽：ベルリン・ドイツ交響楽団	11月5日 ランチタイム・パイプオルガンコンサートVol.114 オルガン：ヘンリー・フェアーズ	
8月5日 ナイトタイム・パイプオルガンコンサートVol.11 オルガン：ヘンリー・フェアーズ	11月11日 開館25周年記念コンサート “ジョワ・ド・ヴィーヴル～生きる喜び” アーティスティックディレクター 指揮：鈴木優人		
9月10日 ランチタイム・パイプオルガンコンサートVol.113 オルガン：平井靖子			

Playhouse	Theatre West
ルーマニア国立ラドゥ・スタンカ劇場来日公演 10月15日～18日(予定)「ガリバー旅行記」 21日～23日(予定)「オイディプス」 演出：シルヴィウ・ブルカレーテ	7月12日～20日「障子の国のティンカーベル」 作：野田秀樹 演出：マルチェロ・マーニ 出演：穂谷友子 8月19日～20日「ロミオとジュリエット」 オックスフォード大学演劇協会(OUDS)来日公演
Theatre East	
6月27日～7月12日「cocoon」憧れも、初恋も、爆撃も、死も。 原作：今日マチ子「cocoon」(秋田書店) 作・演出：藤田貴大(マームとジブシー) 音楽：原田郁子 8月22日～31日「気づかいルーシー」 原作：松尾スズキ(千倉書房「気づかいルーシー」) 脚本・演出：ノゾエ征爾 10月・12月 カントール生誕100年記念企画(仮題) 9～10月の週末に開催【11回程度】	12月 Roots vol.3「書を捨てよ町へ出よう」 作：寺山修司 演出：藤田貴大(マームとジブシー)
	劇場前広場 集まれ！池袋みんなの大道芸 9～10月の週末に開催【11回程度】



PICK UP


開館25周年記念コンサート

《第1部「祈り」》15:00開演

《第2部「希望と愛」》17:30開演

東京芸術劇場では、開館25周年を記念して、この特別な一日のために、コンサートで指揮とオルガンをつとめる鈴木優人をアーティストティックディレクターに迎え、「ジョワ・ド・ヴィーヴル～生きる喜び」と題したコンサートを2部形式でお届けします。《第1部》「祈り」では、オルガン曲や合唱、ダンスも含め、古今の響きが伝える祈りの空間に誘います。

《第2部》「希望と愛」では、2014年度に発足した若き才能たち・芸術ウインド・オーケストラも出演し、輝かしい希望に満ちた「火の鳥」を演奏します。フィナーレにはメシアンが描いた神秘に満ちた愛の世界「トゥランガリラ交響曲」で記念の日を祝します。＜芸術＞が「祈り」と「希望と愛」で満たされる特別な一日に、ぜひお立会いください！



鈴木優人
Marco Borggreve


11月1日(日) コンサートホール

《第1部「祈り」》15:00開演
指揮：鈴木優人
合唱：パッパ・コレギウム・ジャパン
オルガン：石丸由佳 ダンス：小見健太
料金：【全席指定】
《第1部》4,000円 ※通し券及び25歳以下チケットは東京芸術劇場ボックスオフィスのみ取扱い(前売のみ)
《第2部》S:7,000円/A:6,000円/B:5,000円/C:4,000円/25歳以下:2,000円
《通し券》S:10,000円/A:8,000円/B:7,000円

《第2部「希望と愛」》17:30開演
指揮：鈴木優人
管弦楽：東京交響楽団
吹奏楽：芸術ウインド・オーケストラ
ピアノ：児玉 桃 オンド・マルトノ：原田 節
チケット発売:6月30日(火)

記者会見
レポート

全国共同制作プロジェクト
モーツァルト/歌劇『フィガロの結婚』～庭師は見た！～
新演出 (全4幕・字幕付 原語と一部日本語上演)



指揮：総監督の井上道義、演出の野田秀樹、主要キャストらによる会見が都内にて5月14日に行われました。「井上さんにいい仕事をいただいた」(野田)、「野田さんから『やっていて楽しい』と言われ舞い上がった」「日本でならこういう形でやるべきだ、と思っていたことが出来た」(井上)。二人とも手応え充分な思いを語りました。

東京公演は10月24・25日コンサートホールにて。

海外オーケストラシリーズ



トゥガン・ソヒエフ

©Erik Weiss

DEUTSCHES
SYMPHONIE
ORCHESTER BERLIN



神尾真由子

©Shion Ioka



グスターボ・ヒメノ

ROYAL
CONCERTGEBOUW
ORCHESTRA



ユジャ・ワン

©James Cheadle



アンドレス・オロスコ=エストラーダ

©Martin Sigmund

RADIO
SINFONIE
ORCHESTER FRANKFURT



アリス=紗良・オット

©Marie Staggat

旬の若手指揮者と名門楽団の共演を聴く！

オーケストラ・コンサートは、缶詰ではなく、生ものである。

上り坂にある実力派の指揮者と名門楽団がつくり出す、果てしない感動の世界へ！

次代をリードする指揮界のホープたちが登場

ベルリン・ドイツ交響楽団(1946年創立)は、初代首席指揮者フリッツチャイのもとで幅広い演目をレコーディングしており、その後、マゼール、シャイーが首席指揮者を務めた楽団である。1993年にベルリン放送交響楽団から、現在の名称になった後も、その鮮やかな合奏能力と幅広い対応力で、高く評価されている。2012年に音楽監督に就任したソヒエフ(1977年生)は、ロシアの北オセチア出身。すでにボリショイ劇場の音楽監督とトゥールーズ・キャピトル国立管弦楽団の首席指揮者も兼任している売れっ子で、近代の作品では、原色的な色彩感を活かしつつ、濃厚に音楽をうねらせるなど、ドラマティックに音楽を形づくることのできる才能の持ち主である。今回の公演では、ドイツ・オーストリア音楽の王道を往く作品で、オーケストラからどのような響きを引き出してくれるのか、大いに期待したい。神尾真由子がメンデルスゾーンの名曲でソリストを務めるのも楽しみである。

ロイヤル・コンセルトヘボウ管弦楽団(1888年創立)は、半世紀にわたって楽団を率いたメンゲルベルクの後、ベイヌム、ハイティンク、シャイー、ヤンソンスが首席指揮者を務めた名門中の名門である。2016年からは、ガッティが首席指揮者に就任するが、今回の公演で指揮台にのぼるのは、スペイン・バレンシア生まれのヒメノである。2001～2013年にこの名門楽団の首席打楽器奏者を務めたヒメノは、2014年1月にキャンセルしたヤンソンスの代役として大成功を収めたキャリアの持ち主であり、2015年からルクセンブルク・

フィルの首席指揮者に就任する注目株だ。芳醇でクオリティの高いサウンドを誇るロイヤル・コンセルトヘボウ管の特質を知り尽くしたヒメノが、ロシアの作品が孕んでいる熱いエネルギーを見事に解き放ってくれることだろう。名のある指揮者を無難に据えるのではなく、かつての仲間を選んだ名門楽団の心意気にも期待したい。人気沸騰中のユジャ・ワンが、滅多に実演では接することができないチャイコフスキーのピアノ協奏曲第2番に挑む点も要チェックであろう。

フランクフルト放送交響楽団(1929年創立)は、ヘッセン放送交響楽団と名のついていた時期に、フルトヴェングラーが指揮台にのぼったりもしたが、その楽団名が世界中に轟いたのは、インバルが率いていた時代(1974～1990年)に行ったブルックナーとマーラーの交響曲全集のレコーディングによってである。楽団が培って来た鮮烈な表現能力は、折り紙付きだ。2014年までパーヴォ・ヤルヴィ(現在は桂冠指揮者)が率いた後、オロスコ=エストラーダ(1977年生)が首席指揮者に就任して、新たな時代の幕が上がり、高く評価されているだけに、当コンビの演奏に早くも接することができるのはうれしい限りである。コロンビア生まれで、ウィーンで研鑽を積んだオロスコ=エストラーダは、オーソドックスなアプローチを踏まえながら、音楽をフレッシュに息づかせることができる手腕の持ち主だけに、今回取り上げる演目にも興味が尽きない。アリス=紗良・オットがチャイコフスキーの名作のソリストとして登場するのも期待大である。

文：満津岡信育(音楽評論)

ベルリン・ドイツ交響楽団

10月30日(金) 19:00開演
コンサートホール

指揮：トゥガン・ソヒエフ ヴァイオリン：神尾真由子
管弦楽：ベルリン・ドイツ交響楽団
シューベルト／劇音楽『ロザムンデ』D.797 序曲
メンデルスゾーン／ヴァイオリン協奏曲
ベートーヴェン／交響曲第7番

富士電機スーパーコンサート

ロイヤル・コンセルトヘボウ管弦楽団
11月12日(木) 19:00開演
コンサートホール

指揮：グスターボ・ヒメノ ピアノ：ユジャ・ワン
管弦楽：ロイヤル・コンセルトヘボウ管弦楽団
チャイコフスキー／ピアノ協奏曲第2番
交響曲第6番「悲愴」

特別協賛：富士電機株式会社

フランクフルト放送交響楽団

11月19日(木) 19:00開演
コンサートホール

指揮：アンドレス・オロスコ=エストラーダ
ピアノ：アリス=紗良・オット 管弦楽：フランクフルト放送交響楽団
グリンカ／歌劇『ルスランとリュドミラ』序曲
チャイコフスキー／ピアノ協奏曲第1番
ブラームス／交響曲第1番

主催：東京芸術劇場(公益財団法人東京都歴史文化財団)

東京芸術劇場 Presents

クラシカル・プレイヤーズ東京 演奏会

指揮：有田正広 フォルテピアノ：仲道郁代

ソロコンサートマスター：豊嶋泰嗣

明暗も鮮やかな3曲! 大きな拍手で暑気払い

交響曲の第1楽章が終わったところで、拍手をしかけたことがないだろう。当方は実際、手を叩いたことがある。古典派の交響曲の冒頭楽章は、拍手を誘うような終わり方をする。それもそのはず当時は、必ずしもすべての楽章をいっぺんに演奏していたわけではなく、楽章間に協奏曲や声楽曲を挟んで、バラエティー豊かなプログラムを組んでいた。

そんな古典期の習慣とは少し様子が違うけれど、このたびのクラシカル・プレイヤーズ東京(以下CPT)の演奏会も、交響曲を「枠」として、その間にピアノ協奏曲を置いている。当時の演奏会の楽しさが伝わってきそうなプログラム。元気いっぱいの祝典曲「ハフナー」の第1楽章には、ふだんなら抑えてしまうはずの拍手を、大いに送ってほしい。

その拍手の後にももちろん、聴きどころは控えている。仲道郁代さんが自

7月12日(日) 15:00開演 コンサートホール

指揮：有田正広 フォルテピアノ：仲道郁代 管弦楽：クラシカル・プレイヤーズ東京 ※豊嶋泰嗣(ソロコンサートマスター)

モーツァルト／交響曲第35番 二長調「ハフナー」K.385 から 第1楽章 ベートーヴェン／ピアノ協奏曲第3番 八短調 op.37
メンデルスゾーン／交響曲第4番 イ長調「イタリア」op.90

主催：東京芸術劇場(公益財団法人東京都歴史文化財団)

詳細はP9へ

ロシア国立交響楽団

指揮：ヴァレリー・ポリャンスキー

生き続ける本場のチャイコ、28年ぶりに来日

世界各地の有名オーケストラがグローバル化する中、20世紀の伝説的演奏を彷彿とさせるサウンドを残しながらも、個性的な音楽を聴かせるロシアのオーケストラ。独特の感情を豪快に、さらには繊細に描き出す演奏は、彼らの言葉であるロシア音楽を演奏してこそ最高のレベルへと達する。だからこそ、本場の香りを湛えた演奏を聴きたいと願う聴衆も多いだろう。

かつて名指揮者ロジェストヴェンスキーが率いたソヴィエト国立文化省交響楽団は、重厚かつ硬質な響きでショスタコーヴィチの交響曲などを演奏し、ロシア／ソヴィエト音楽ファンに圧倒的な印象を与えた。ソ連崩壊後には合唱団を併設した「ロシア国立シンフォニー・カペラ」として生まれ変わる。ロジェストヴェンスキーの後継者であるヴァレリー・ポリャンスキーが芸術監督に就任。その「カペラ」のオーケストラが「ロシア国立交響楽団」という

7月18日(土) 14:00開演 コンサートホール

指揮：ヴァレリー・ポリャンスキー 管弦楽：ロシア国立交響楽団

チャイコフスキー／交響曲第4番 へ短調 作品36、交響曲第5番 ホ短調 作品64
交響曲第6番 口短調 作品74「悲愴」

主催：デンポリアル
提携：東京芸術劇場(公益財団法人東京都歴史文化財団)



有田正広

©Hikaru



仲道郁代

©Kiyotaka Saito

身の楽器、1816年製のブロードウッド・ピアノで、ベートーヴェンの協奏曲第3番を弾く。この楽器の威力は、独奏ピアノが登場するところから、早くも発揮されるだろう。音域を変えつつ同じ音階を3回、駆け上る。音域によって音色の異なる古典鍵盤楽器が、この部分の意義をいっそう深めてくれるはずだ。

1780年代、1800年代と続いた演奏会は後半、1830年代へと進む。メンデルスゾーンの交響曲「イタリア」の登場だ。それに伴ってオーケストラも装いを少し変化させる。たとえば弦楽器の弓や管楽器のキー。それが管弦楽の響きをどのように変えるのか。そんな愉快な視点を与えてくれるのは、オリジナル楽器の楽団CPTならではの。明暗の対比も鮮やかなプログラムを、暑気払いとして楽しみたい。

文：澤谷夏樹(音楽評論家)



ヴァレリー・ポリャンスキー



わけだ。

このオーケストラが28年ぶりに来日して、しかもチャイコフスキーの3大名作交響曲(第4番・第5番・第6番「悲愴」)を一気に聴かせるというのだから驚く。ポリャンスキー指揮によるさまざまな作品はCD(CHANDOSレーベル等)でリリースされており、その情緒豊かな音楽作りに魅了されているファンも多数。しかし、やはりその真価はライブに接してみないとわからないだろう。

チャイコフスキーが心の友であるメック未亡人に「私たちの交響曲」と贈った第4番、ロシア文学にも通じる「運命・宿命」の音楽として名高い第5番、そして感慨深い遺作となってしまった第6番「悲愴」。ぜひ、心が揺さぶられる“イッキ聴き”の体験を！

文：オヤマダアツシ

詳細はP10へ

Interview 穂谷友子

障子の国の ティンカーベル

“大人にならない大人”のための一人芝居を再び



野田秀樹 × マルチェロ・マーニ × 穂谷友子 傑出した三つの才能が紡ぐ永遠の少年と妖精の恋物語

世界中で愛され続ける童話の主人公ピーター・パンが、相棒ティンカーベルと日本に現れ、恋に落ちたとしたら……。奇想天外かつスケールの大きな物語と、ふんだんに織り込まれた言葉遊び。野田戯曲の魅力をたっぷり持ちながら、上演機会の少ない『障子の国のティンカーベル』に昨年、穂谷友子は新たな命を吹き込んだ。

「最初にやりたいと思ってから10年近い時間を経て、ようやく実現した待望の公演。一人芝居は父・矢代静一が私に残してくれた『弥々』を20年以上上演し続けており、過酷さは身に沁みているはずでしたが、今作は『弥々』のゆうに3倍は大変。時空を自在に行き来し、重力にも逆らうような作品世界を体現しなければなりませんから。でもだからこそ余計に、お客様と野田さん自身にも喜んでいただけたのは本当に嬉しかった。初演の千秋楽の翌日、野田さんはメールで『再演を考えて欲しい』と言って下さって。『すぐにも上演しなければ肉体的に上演できなくなってしまうかも』、と早々の再演を決断しました」

穂谷は今作を「人生に悩む若き野田秀樹が、葛藤の末に演劇とともに生きる決意を表明した作品」だと言う。

取材・文：尾上そら

7月12日(日)～20日(月・祝) シアターウエスト ※20日は追加公演

作：野田秀樹 演出：マルチェロ・マーニ 出演：穂谷友子 パフォーマー：野口卓磨

詳細はP9へ

主催：東京芸術劇場（公益財団法人東京都歴史文化財団）／東京都アーツカウンシル東京（公益財団法人東京都歴史文化財団）

オックスフォード大学演劇協会(OUDS)来日公演

「ロミオとジュリエット」(英語上演／日本語字幕付)

シェイクスピアも驚く大胆アレンジに挑戦!

1885年の創立以来、ジュディ・デンチ、ローワン・アトキンソン、ヒュー・グラント、フェリシティ・ジョーンズら数多の名優を輩出してきたオックスフォード大学演劇協会(OUDS=Oxford University Dramatic Society)。130年の歴史と伝統を誇り、シェイクスピア作品の原語上演が好評なイギリスの由緒正しい学生劇団が、今年のはあ“悲劇”に挑む。とはいえ、誰もが知る古典そのものではない。若者らしいフレッシュな感性で大胆なアレンジが施され、舞台は中世ヴェローナから暴力と悪政がはびこる近未来ヴェローナへ、ロミオもジュリエットも女性という同性2人の恋物語になっているというから、仕上がりに期待がふくらむ。小田島雄志氏翻訳の日本語字幕を見ながら、本場のクイーンズズイングリッシュで公演を堪能したら、OUDSメンバーとの交流会「Meet&Greet」や「アフター・トーク」にも参加して思いっきり楽しもう。

8月19日(水)・20日(木) シアターウエスト

作：ウィリアム・シェイクスピア 演出・出演：オックスフォード大学演劇協会(OUDS)

主催：東京芸術劇場（公益財団法人東京都歴史文化財団）／豊島区

詳細はP12へ



気づかいルーシー

松尾

SUZUKI MATSUO

スズキ

ノゾエ

SEIJI NOZOE

征爾

対談

大人が楽しんでいるのを、こどもが
背伸びして観て楽しむような舞台に。

こどものための演劇作品を創作、上演することが、2009年の就任当初から、野田秀樹芸術監督の目標のひとつだった。それが、人気作家・演出家・俳優の松尾スズキの絵本『気づかいルーシー』の音楽劇という形でいよいよ実現する。松尾の指名で脚本・演出を手がけるノゾエ征爾は、とある演劇ゼミの松尾クラスで1年学び、岸田戯曲賞も受賞した実力派。師弟対談は和やかに進んだ。

松尾 これ、夢で見た話をほぼそのまま書いたんだよ。夢の中で何かを考えていることがよくあるんだけど、おとぎ話を考えるというシチュエーションが夢に出てきて、そこで思いついたのがこのストーリーだった。

ノゾエ ずいぶんファンタジーな夢ですね(笑)。僕は、その時に書いている脚本の最後のピースが夢で見つけることがよくありますけど。

松尾 もともと“気づかい”は気になる問題ではあるんだよね。自分自身が、たとえば人を飲み込みに誘うにしても、二重三重に断られた時のパターンを考えて心の保険を用意しておかないと誘えない人間だから。

ノゾエ 同じです。気づかひのループにハマって、結局なにもできないのが基本、みたいなところがあります。

松尾 ノゾエくんのつくる作品にも心が空回りしてる人の話が結構あるよね。やってもらおうと思ったのはそれも理由のひとつだし。でも1番大きな理由は、高齢者の施設で演劇をする仕事を何年もしているでしょ？だからこどもにも興味があるんじゃないかと思って。『気づかいルーシー』は絵本ではあるけど、特にこども向けを意識したわけではなかったのね。でも舞台にするなら、自ずとその部分も考えることになるだろうから。

ノゾエ そう言えば僕、戯曲を書く時にはいつも自分の中に“今回のテーマ”みたいなものがあって、それをメモっておくんですけど「大人向けの絵本」というフレーズはよく書いています。絵本の、シンプルさとか、大胆さとか、妙な奥行きとか、そういう感覚を舞台でもできたらとよく課題にしてて。

松尾 へえ、そうだったんだ。

ノゾエ 松尾さんが今おっしゃったように、高齢者の施設で演劇をやっていると、小さいこどもと一緒に観ていることがよくあって、お話をいただいた時、感覚としてはすぐにフィットしたところがありました。だからあまり悩ま

ずに「やります」とお返事したんです。

松尾 うん、ノゾエはきっと断らないだろうというの、声をかけた理由(笑)。

絵本にはない音楽の要素を融合させて

ノゾエ 読まれましたね(笑)。最終的には、大人が観て楽しめるものをつくって、こどもはちょっと背伸びして入り込んで観るような、のぞいてみたら楽しかったというところに行き着けたらと思っています。

松尾 こどもはなかなかわかっていないからね。「これは通じないだろう」とか、ナメてかかっちゃダメだね。それと音楽劇になるのも楽しみなんだ。曲はいっぱい入るの？

ノゾエ 生演奏ですし、わりと入れる予定です。音楽劇は初めてなんですけど、もともとミュージカルが好きで、自分の劇団でもよく歌を入れるので、そこは僕自身も楽しもうと思ってます。音楽と演奏をお願いしているのが元SAKE ROCKの田中馨くん、本当すごいセンスというか、絶対の信頼をしているので、こっちが何を投げて大丈夫だろうと。

松尾 僕もミュージカルが大好きだし、音楽的な要素が入るのは絵本ではできないことだからいいよね。(絵本の世界観と)うまく融合して楽しいものになれば全然オッケー。

ノゾエ 全体的には楽しいものにしつつ、感覚的にリアルな部分も入れ込みたいという思惑もあるんです。たとえば、皮をむくとすごく痛いんだよ、とか。

松尾 いろんな皮をむく話だからね(笑)。でも童話って、ちょっと残酷な部分があるでしょ、『因幡の白兔』とか。そういう意味ではむしろスタンダードかもしれない。好きなようにやってください。

取材・文：徳永京子

詳細はP12へ

8月22日(土)～31日(月) シアターイースト

原作：松尾スズキ(千倉書房「気づかいルーシー」) 脚本・演出：ノゾエ征爾

出演：岸井ゆきの／栗原 類／川上友里(はえぎわ)／山口航太(はえぎわ)／山中 崇／小野寺修二 演奏：田中 馨／森 ゆに

主催：企画制作：東京芸術劇場（公益財団法人東京都歴史文化財団）
主催：フジテレビジョン 特別協賛：三貴地所

芸劇eyes ベッド&メイキングス「墓場、女子高生」

7月17日(金)～26日(日) シアターイースト

詳細はP10へ



生き返っても退屈な愛しい日々。

日本の演劇界で影響力も注目度も圧倒的に大きい岸田國士戯曲賞で、今年、最終候補にノミネートされ、受賞は逃したものの、審査員から高い評価を集めた福原充則。すると耳に飛び込み、笑いの神経を多彩に刺激しながら、気が付くと深く胸に刺さっているそのせりふの魅力が、いよいよ多くの人に広まる時期が来たようだ。

その福原と俳優の富岡晃一郎が立ち上げたユニットがベッド&メイキングスで、『墓場、女子高生』はその旗揚げ公演でも上演された傑作。ストーリーは荒唐無稽で、自殺した女子高生が、オカルト研究会の呪術で生き返ってしまい、同級生達と再び生き直すことになる……というもの。しかしそこには、10代＝明るい青春、あるいは自殺＝苦悩という単純な図式はない。あるのは、蘇生という裏返しの生から、生きていくことの価値と孤独を均等に照射する秀逸な眼差し。福原ワールドを未体験の人にもぜひお勧めしたい。

文：徳永京子

作・演出：福原充則

出演：清水葉月／根本宗子／青山美郷／望月綾乃／山田由梨／杉ありさ／葉丸あすか／佐藤みゆき／猫背 椿／竹森千人／中山祐一朗／富岡晃一郎

主催：ベッド&メイキングス
提携：東京芸術劇場（公益財団法人東京都歴史文化財団）

ミュージカル「100万回生きたねこ」

8月15日(土)～8月30日(日) プレイハウス

詳細はP12へ



成河

深田恭子

シニカルでキュートな「ねこ」にまた会える。

佐野洋子のロングセラー絵本『100万回生きたねこ』がイスラエルの振付・演出家インバル・ピント&アブシャロム・ボラックによりミュージカル化されたのは2013年のこと。2人は日本に数カ月滞在し、作品をゼロから作り上げた。その稽古場の刺激的だったこと！一角でインバルが独創的な振付を自らが舞いながら教え、脇ではアブシャロムが演技指導を行う。美術と衣裳はすべてインバルがデザインし、片隅に魚の頭や家、インバル手描きのドレスが並び、珍しいアナログ楽器が多数持ち込まれ…と、稽古場全体が「素敵！」を詰め合わせたおもちゃ箱のようだった。

初演は大人気を博し、今回は待望の再演となる。「ねこ」が生死を繰り返した末、白いねこ出会う。生きること、死ぬこと、愛とは何か…。まるで飛び出す絵本のようなファンタジックな世界。白いねこを演じる深田恭子は初舞台。成河とともに、しなやかなねこで魅了してくれることだろう。

文：三浦真紀

原作：佐野洋子「100万回生きたねこ」（講談社刊） 演出・振付・美術：インバル・ピント、アブシャロム・ボラック

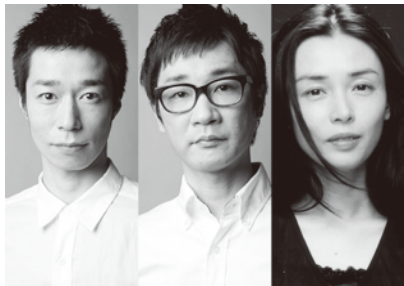
出演：成河 深田恭子／近藤芳正 田口浩正 石井正則／銀粉蝶 藤木 孝 ほか

主催：TBS／ホリプロ
共催：東京芸術劇場（公益財団法人東京都歴史文化財団）
協力：オフィス・ジロチョー／講談社 企画制作：ホリプロ

カタルシツ「語る室」

9月19日(土)～10月4日(日) シアターイースト

詳細はP14へ



左から浜田信也、安井順平、中嶋朋子

人は自分の物語を語らずにられない。

SFの構造を使いながら、目の前にあるものや場所や人、記憶、自分という存在の不確かさを問い続ける作・演出家、前川知大と、彼が率いる劇団イクウメ。ファンが多いだけでなく、業界内外の評価が高く、代表作のひとつ『太陽』は映画化され、来年に公開が控える。

その“別館”として一昨年誕生したカタルシツ。イクウメの世界観からこぼれる作品を発表する場として、これまではドストエフスキーの『地下室の手記』を現代の日本に置き換えた作品を、ふたり芝居とひとり芝居で上演してきた。秋の芸劇では、語りをテーマにしてオリジナル作品に挑戦する。芥川龍之介の『藪の中』に習わずとも、人間には主観があり、ひとつの出来事を誰かと完全に共有することはできない。食い違いや矛盾を抱えながらも語り合う人々の姿を、劇団員と、中嶋朋子をはじめとする客演とともに描いていく。正面から物語に向き合う前川の新しい挑戦に期待したい。

文：徳永京子

作・演出：前川知大

出演：浜田信也／安井順平／盛 隆二／大窪人衛／木下あかり／板垣雄亮／中嶋朋子

主催：イクウメ／エッチビィ
提携：東京芸術劇場（公益財団法人東京都歴史文化財団）

穂の国とよはし芸術劇場PLAT Produce「父よ！」

10月2日(金)～12日(月・祝) シアターウエスト

詳細はHPへ



2013年6月初演時舞台写真 撮影：谷古宇正彦

わずらわしくて愛おしい、家族と人生を軽やかに

母亡き後、独居となった老父の面倒を誰がみるか？ 自分たちも老境に差し掛かっている四兄弟が久しぶりに実家に集うが、話し合いは一向に進まない。そこに謎の女が現れて……。

2013年4月に開館した穂の国とよはし芸術劇場PLATアールスペース（小劇場）柿落とし公演が、初演のキャスト&スタッフで待望の再演となる。豊橋市出身で同館の芸術文化アドバイザーを務める平田満主宰のアル☆カンパニー、そして穂の国とよはし芸術劇場の共同企画によるもので、作・演出は劇団ONEOR8主宰の田村孝裕。岸田國士戯曲賞に3回ノミネートという注目の俊英は、同じく作・演出を手がけた「ええから加減」で上方漫才コンビ役の藤山直美と高畑淳子に菊田一夫演劇賞をもたらした。

老いと介護、そんなシリアスなトピックを孕みながら実に軽やか。巧みな役者陣がコミカルに演じて温かな余韻を残し、誰も自分の家族を思わずにられない。

作・演出：田村孝裕（ONEOR8）

出演：平田 満／ベンガル／徳井 優／花王おさむ／井上加奈子

主催：公益財団法人豊橋文化振興財団
共催：東京芸術劇場（公益財団法人東京都歴史文化財団）

COMING UP NEXT 2015.10-12

演劇ラインナップ



カントール生誕100年記念企画(仮題)

10月・12月

シアターイースト・アトリエイースト

1982年国際演劇祭利賀フェスティバルでも紹介された『死の教室』をはじめ、『くたばれ！芸術家』など衝撃的な作品で20世紀の演劇シーンに革命を起こしたポーランドの演出家・舞台美術家のタデウシュ・カントール。生誕100年を記念し、10月と12月の二期に渡り、映像上映や素描の展示、タニノクロウによるオマーージュ作品の上演、シンポジウムなど、多角的な企画を実施。世界の演劇・美術界に多大な影響を与え、日本でも寺山修司らと深い関係を持つことで知られる鬼才の実像に迫る。

企画詳細についてはHPにて順次アップ致します。



ルーマニア国立ラドゥ・スタンカ劇場来日公演

「ガリバー旅行記」「オイディプス」

演出：シルヴィウ・ブルカレーテ 出演：オフィリア・ポビ ほか

10月15日～18日(予定)「ガリバー旅行記」

10月21日～23日(予定)「オイディプス」

プレイハウス

2013年『ルル』でプレイハウスに馬蹄形の客席を出現させ、妖しくも鮮烈な舞台が話題を呼んだ、東欧を代表する演出家シルヴィウ・ブルカレーテ。再びルーマニア国立ラドゥ・スタンカ劇場製作のブルカレーテ演出2作品を招聘し連続上演。是非劇場でその濃密な世界を体験して。

チケット発売：8月上旬予定

芸劇eyes

てがみ座

「地を渡る舟」

作：長田育恵

演出：扇田拓也

10月23日(金)～11月1日(日)

シアターイースト

チケット発売：後日HPにて発表

パルコ

寺山修司生誕80年

TERAYAMA WORLD IN GEIGEKI 2015

「レミング～世界の涯まで連れてって～」

作：寺山修司

演出：松本雄吉（維新派）

12月6日(日)～20日(日)予定

プレイハウス

チケット発売：10月予定

Roots vol.3

「書を捨てて町へ出よう」

作：寺山修司

演出：藤田貴大（マームとジブシー）

12月5日(土)～27日(日)予定

シアターイースト

チケット発売：10月17日(土)予定



Concert Hall

音楽略号:指揮(Cond)ノソプラノ(Sop)メゾ・ソプラノ(M.Sop)／アルト(Alt)／テノール(Ten)／バリトン(Bar)／バス(Bass)／コーラス(Chor)／フルート(Fl)／オーボエ(Ob)／クラリネット(Cl)／

A

3日(金) 19:00開演

BOX

国立音楽大学
第56回プラスオルケスター定期演奏会

出演 フランソワ・ブーランジェ(Cond)／国立音楽大学プラスオルケスター

曲目 オッフェンバック／喜歌劇『天国と地獄』より「序曲」ワーグナー／楽劇『神々の黄昏』より第3幕「ジークフリートの葬送行進曲」シュミット／デュオニソスの祭りR.シュトラウス／交響詩『ドン・ファン』メイ／エクストリーム・メイク・オーヴァー～チャイコフスキーの表題による変容リムスキー・コルサコフ／スペイン奇想曲

料金 S:1,500円／A:1,000円／学生:500円

TEL 国立音楽大学 演奏課 042-535-9535

D

7日(火)

Closed・関係者のみ

平成27年度 千代田区音楽鑑賞教室

E9日(木) 12:15開演BOX

東京芸術劇場ランチタイム・パイプオルガンコンサートVol.112

出演 柳澤文子(Org)

曲目 ヴァレンテ／ラ・ロマネスカ(5つの変奏)スウェーリンク／「我が青春は終わらぬ」SwWV324ムファット／『アパタートゥス・ムジコ・オルガニスティクス』よりトッカータ 第8番ケルル／カプリッチョ「カッコウ」J.S.バッハ／幻想曲ト長調 BWV572

料金 【全席自由】500円

TEL 東京芸術劇場ボックスオフィス 0570-010-296

G

11日(土) 14:00開演

BOX

武蔵野合唱団創立60周年記念MUSASHINO MUSIC FESTIVAL

出演 松岡 究、山田和樹、松井慶太、佐藤洋人(Cond)／山田英津子、秋吉邦子(Sop)／松原 友(Ten)／青戸 知(Bar)／武蔵野合唱団

曲目 荻久保和明(宗 左近 詩)／混声合唱組曲 縄文富澤 裕／AGNUS DEIよりブルックナー／ミサ曲第3番よりハイドン／天地創造より ほか

料金 S:3,000円／A:2,500円／B:1,500円

TEL 武蔵野合唱団 080-4811-4866

H

12日(日) 15:00開演

BOX

東京芸術劇場Presentsクラシカル・プレイヤーズ東京 演奏会

出演 有田正広(Cond)／仲道郁代(Pf)／クラシカル・プレイヤーズ東京※豊嶋泰嗣(ソロコンサートマスター)

曲目 モーツァルト／交響曲第35番 二長調「ハフナー」K.385 から 第1楽章ベートーヴェン／ピアノ協奏曲第3番 八短調 op.37メンデルスゾーン／交響曲第4番 イ長調「イタリヤ」op.90

料金 S:4,000円／A:3,000円／B:2,000円

TEL 東京芸術劇場ボックスオフィス 0570-010-296

F

10日(金) 18:30開演

BOX

芸劇&N響ジャズ～BEBOP BERNSTEIN～

出演 ジョン・アクセルロッド(Cond)／大島文子(CI)／トルヴェール・クワルテット(サクソフォン四重奏)／NHK交響楽団

曲目 バーンスタイン／プレリュード、フーガとトリフデューク・エリントン／ハーレム組曲ガーシュウィン／パリのアメリカ人 ほか

料金 SS:9,500円(アフターライブ&ドリンク付限定プレミアムチケット)／S:7,500円／A:6,500円／B:5,500円／C:4,500円／25歳以下:2,000円

※25歳以下チケットは東京芸術劇場ボックスオフィスにて、前売のみ取扱い。(要証明書)

TEL 東京芸術劇場ボックスオフィス 0570-010-296

東京芸術劇場ホームページ www.geigeki.jp

お問合せ

東京芸術劇場
ボックスオフィス

0570-010-296

休館日を除く
10:00～19:00

BOX 東京芸術劇場ボックスオフィスにてチケットお取り扱いのある公演

ファゴット(Fg)／サクソス(Sax)／ホルン(Hr)／トランペット(Tp)／トロンボーン(Trb)／ティンパニ(Timp)／ヴァイオリン(Vn)／ヴィオラ(Vla)／チェロ(Vc)／コントラバス(Cb)／ハープ(Hp)／ピアノ(Pf)／チェンバロ(Cemb)／オルガン(Org)

I

13日(月) 18:30開演

BOX

東京音楽大学シンフォニック
ウインドアンサンブル 第46回定期演奏会

出演 水野信行(Cond)／サボルチ・ゼンブレーニ(Hr)／東京音楽大学シンフォニックウインドアンサンブル

曲目 ヴェルティ(村田昌己編)／『運命の力』序曲
デ＝メイ／エクストリーム・メイクオーヴァー
ヒダシュ／ホルン協奏曲 第3番
2015年度全日本吹奏楽コンクール課題曲
ストラヴィンスキー(デューカー編)／組曲『火の鳥』1919年版

料金 【全席指定】1,500円

TEL 東京音楽大学 演奏課 03-3982-2496

K

18日(土) 14:00開演

BOX

ロシア国立交響楽団
チャイコフスキー三大交響曲4・5・6連続演奏会

出演 ヴァレリー・ポリャンスキー(Cond)／ロシア国立交響楽団

曲目 チャイコフスキー／交響曲第4番 へ短調 作品36
交響曲第5番 短調 作品64
交響曲第6番 短調 作品74「悲愴」

料金 S:12,000円／A:9,500円／B:7,000円／C:5,000円

TEL デンポプリモ 03-5810-7772(平日10:00～18:00)

L

19日(日) 11:00開演、14:00開演

BOX

日本フィル 夏休みコンサート 2015

出演 園田隆一郎(Cond)／江原陽子(お話とうた)／スターダンサーズ・バレエ団／日本フィルハーモニー交響楽団

曲目 第1部 ベートーヴェン／交響曲第5番「運命」より第1楽章ホルスト／組曲「惑星」より「ジュピター」 ほか
第2部 チャイコフスキー／バレエ『くるみ割り人形』(日本フィル夏休みコンサート版)
第3部 みんなでうたおう さんぽ、ようかい体操第一 ほか料金 【子供】S:3,200円／A:2,500円／B:1,800円
【大人】S:5,200円／A:4,200円／B:3,200円

TEL 日本フィルサービスセンター 03-5378-5911

J

15日(水) 18:30開演

BOX

武蔵野音楽大学ウインドアンサンブル演奏会

出演 レイ・E.クレマー(Cond)／ケマル・ゲキチ(Pf)／武蔵野音楽大学ウインドアンサンブル

曲目 プロートン／セレブレーション(日本初演)
マクリス／序曲「エーゲ海の祭」
パーシケッティ／吹奏楽のための仮面舞踏会
ガーシュウィン／ラプソディ・イン・ブルー
ロジャース／サウンド・オブ・ミュージック
2015年度全日本吹奏楽コンクール課題曲より ほか

料金 【全席指定】1,500円

TEL 武蔵野音楽大学 演奏部 04-2932-3108

M

20日(月・祝) 14:00開演

BOX

日本フィル 夏休みコンサート 2015

出演 園田隆一郎(Cond)／江原陽子(お話とうた)／スターダンサーズ・バレエ団／日本フィルハーモニー交響楽団

曲目 第1部 ベートーヴェン／交響曲第5番「運命」より第1楽章ホルスト／組曲「惑星」より「ジュピター」 ほか
第2部 チャイコフスキー／バレエ『くるみ割り人形』(日本フィル夏休みコンサート版)
第3部 みんなでうたおう さんぽ、ようかい体操第一 ほか料金 【子供】S:3,200円／A:2,500円／B:1,800円
【大人】S:5,200円／A:4,200円／B:3,200円

TEL 日本フィルサービスセンター 03-5378-5911

N

24日(金) 19:00開演

BOX

東京ニューシティ管弦楽団 第100回定期演奏会

出演 内藤 彰(Cond)／フィリップ・コバチェフスキー(Pf)／東京ニューシティ管弦楽団

曲目 シベリウス／交響詩「フィンランディア」
ショパン／ピアノ協奏曲第1番
ブルックナー／交響曲第5番

料金 S:6,500円／A:5,000円／B:3,500円／C:2,500円

TEL 事務局チケットデスク 03-5933-3266

O

25日(土) 14:00開演

混声合唱団コール・ミレニアム
第13回定期演奏会「モーツァルト・レクイエム演奏会」

出演 山下一史(Cond)／松本美和子(Sop)／菅有実子(M.Sop)／高橋 淳(Ten)／大沼 徹(Bar)／赤松林太郎(Pf)／混声合唱団コール・ミレニアム／アウローラ管弦楽団

曲目 ショスタコーヴィチ／ピアノ協奏曲第2番
モーツァルト／レクイエム

料金 S:3,000円／A:2,500円／B:2,000円

TEL 混声合唱団コール・ミレニアム 03-5932-4012

P

26日(日) 14:00開演

BOX

新交響楽団 第230回演奏会

出演 矢崎彦太郎(Cond)／コロネリか(Sop)／新交響楽団

曲目 ラヴェル／古風なメヌエット、『ダフニスとクロエ』第2組曲
マーラー／交響曲第4番

料金 S:3,000円／A:2,500円／B:1,500円

TEL コンサートイマジン 03-3235-3777

Playhouse

A

4日(土) 18:00開演

無料

平成27年度都立総合芸術高等学校
舞台表現科成果発表会(第4回定期公演)舞踊専攻

出演 都立総合芸術高等学校舞台表現科舞踊専攻 1～3年次生、卒業生

曲目 コンテンポラリーダンス創作作品 クラシックバレエ「ドン・キホーテ」

料金 無料

TEL 東京都立総合芸術高等学校 舞台表現科 03-3354-5288

B

5日(日) 12:30開演

瀧川鯉昇・柳家喬太郎 二人会“古典こもり”

出演 瀧川鯉昇／柳家喬太郎 ほか

料金 【全席指定】3,700円

TEL 夢空間 03-5785-0380

C

10日(金)～20日(月・祝)

手塚治虫作品より
ミュージカル「ファウスト～最後の聖戦～」

原作 手塚治虫「ファウスト」 演出 ヨリコジュン

上演台本・作詞 ヨリコジュン／児玉明子 音楽 松谷 卓

出演 河合郁人(A.B.C-Z)／三田佳子／五関晃一(A.B.C-Z) ほか

料金 【全席指定】8,800円

TEL サンライズプロモーション東京 0570-00-3337

D

24日(金)～8月2日(日)

BOX

英国ロイヤル・オペラ・ハウス版
「兵士の物語」

音楽 イゴール・ストラヴィンスキー 原作 アファナシェフ

脚本 ラミューズ 演出・振付 ウィル・タケット

出演 アダム・クーパー(兵士)／ラウラ・モレーラ(王女)／サム・アーチャー(悪魔)／アレクサンダー・キャンベル(ストーリー・テラー)

料金 【全席指定】12,000円／U-25チケット:6,000円※チケットぴあにて前売り販売のみお取扱い・観劇時25歳以下対象・当日指定席券引換・身分証明書

TEL 株式会社バルコ 03-3477-5858

Theatre East

A

～12日(日)

BOX

「cocoon」憧れも、初戀も、爆撃も、死も。

原作 今日マチ子「cocoon」(秋田書店)

作・演出 藤田貴大(マームとジブシー) 音楽 原田郁子

出演 青柳いづみ／菊池明男／飴屋法水 ほか

料金 【全席指定】一般:4,500円／25歳以下:3,500円／65歳以上:4,000円／高校生割引:1,000円

※25歳以下、65歳以上及び高校生割引チケットは東京芸術劇場ボックスオフィスにて前売のみ取扱い(枚数限定・入場時要証明書)

TEL 東京芸術劇場ボックスオフィス 0570-010-296

Theatre West

A

3日(金)～4日(土)

無料

平成27年度都立総合芸術高等学校
舞台表現科成果発表会
(第4回定期公演)演劇専攻

作 シェイクスピア 訳 小田島雄志

出演 演劇専攻3年次生

料金 無料

TEL 東京都立総合芸術高等学校 舞台表現科 03-3354-5288

B

5日(日) 13:00開演

京葉旭会第5回 筑前琵琶演奏会

ゲスト 須田誠舟／上原まり(柴田旭麓) ほか

料金 2,000円

TEL 筑前琵琶京葉旭会事務所 03-3957-7432

C

12日(日)～20日(月・祝)

BOX

「障子の国のティンカーベル」

作 野田秀樹 演出 マルチェロ・マーニ 出演 穂谷友子／ハフォーマー・野口卓磨

料金 【全席指定】前売:3,500円／当日:4,000円／高校生割引:1,000円／25歳以下:2,500円／65歳以上割引:3,000円

※65歳以上、25歳以下、高校生割引チケットは東京芸術劇場ボックスオフィスにて、前売のみ取扱い。(枚数限定・要証明書)

TEL 東京芸術劇場ボックスオフィス 0570-010-296

D

21日(火) 19:00開演

「咲け咲け はなし畑」

出演 若手有望二ツ目落語家・講談師

料金 【全席指定】2,900円

TEL 夢空間 03-5785-0380

E

22日(水) 19:00開演

春風亭百栄 独演会

出演 春風亭百栄

料金 【全席指定】3,600円

TEL 夢空間 03-5785-0380

F

25日(土)～26日(日)

2015国際児童・青少年
演劇フェスティバルおきなわ

出演 沖縄燦爛／フスブス

料金 【全席自由】大人:2,500円／子ども:1,500円／フレンド5(5枚券):5,500円

TEL 一般社団法人エーシーオー沖縄 098-887-1333

G

30日(木)～8月2日(日)

BOX

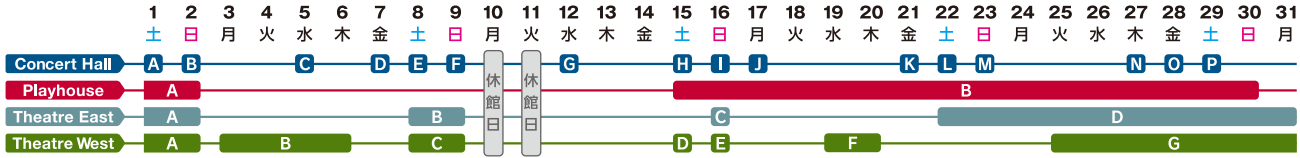
「ディストピア西遊記」

演出 大関 真

料金 【全席指定】前売:4,000円
当日:4,500円

TEL SETインフォメーション 03-6433-1669

8
AUG



Concert Hall 音楽路号:指揮(Cond) /ソプラノ(Sop) /メゾ・ソプラノ(M.Sop) /アルト(Alt) /テノール(Ten) /バリトン(Ban) /バス(Bass) /コーラス(Chor) /フルート(Fl) /オーボエ(Ob) /クラリネット(Cl) /ファゴット(Fg) / サックス(Sax) /ホルン(Hr) /トランペット(Tp) /トロンボーン(Trb) /ティンパニ(Timp) /ヴァイオリン(Vn) /ヴィオラ(Vla) /チェロ(Vc) /コントラバス(Cb) /ハープ(Hp) /ピアノ(Pf) /チェンバロ(Cemb) /オルガン(Org) /リコーダー(Rec)

A 1日(土) 13:00開演 BOX

東京芸術劇場パイプオルガン講座 第60回
親子で楽しめるパイプオルガン・コンサート

出演 小林英之(Org) / 太田光子、浅井 愛、大塚照道(Rec)
料金 【全席自由】500円 ※3歳から入場可。
TEL 東京芸術劇場ボックスオフィス 0570-010-296

B 2日(日) 14:00開演 BOX

東京都交響楽団
「作曲家の肖像」シリーズVol.104<イギリス>

出演 エドワード・ガードナー(Cond) /
東京混声合唱団(女声合唱) / 東京都交響楽団
曲目 プリテン / 青少年のための管弦楽入門
(パーセルの主題による変奏曲とフーガ)
ホルスト / 組曲『惑星』
料金 S:5,800円 / A:4,800円 / B:3,800円 / C:2,800円 /
Ex:2,000円
TEL 都響ガイド 03-3822-0727

C 5日(水) 19:30開演 BOX

東京芸術劇場ナイトタイム・
パイプオルガンコンサート Vol.11

出演 ヘンリー・フェアーズ(Org)
曲目 J.S.バッハ / トッカータ、アダージョとフーガ ハ長調 BWV564
ハートマン / 「オルガン・ソナタ 短調 Op.58」より 第1楽章
シューマン / ペダル・リュウゲルのためのスケッチ Op.58
ニールセン / コンモティオ Op.58
料金 【全席指定】1,000円
TEL 東京芸術劇場ボックスオフィス 0570-010-296

D 7日(金) 19:00開演

東京大学音楽部管弦楽団 サマーコンサート2015

出演 三石精一(Cond) / 東京大学音楽部管弦楽団
曲目 モーツァルト / 歌劇『魔笛』序曲
R.シュトラウス / 交響詩『ドン・ファン』
ブラームス / 交響曲第2番
料金 S:1,500円 / A:1,000円
TEL 東京大学音楽部管弦楽団(久保) 090-3507-6045

E 8日(土) 14:00開演・18:30開演

ファミ通 Presents PRESS START2015
- SYMPHONY OF GAMES -

出演 竹本泰蔵(Cond) / 神奈川フィルハーモニー管弦楽団
曲目 未定
料金 S:7,500円 / A:5,500円
TEL キャピタルヴェレッジ 03-3478-9999
http://www.famitsu.com/sp/

F 9日(日) 14:00開演

第33回日本ナショナル・ミュージック・キャンプ
ジュニア・フィルハーモニック・オーケストラ
サマー・コンサート2015

出演 キンボー・イシイ、パヴェル・ポブラフスキー(Cond) /
ジュニア・フィルハーモニック・オーケストラ
曲目 ヨハン・シュトラウスII / 皇帝円舞曲
オフエンバック(ロザンタール編) / バレエ音楽『バリの喜び』より
R.シュトラウス / 『ばらの騎士』組曲
ラヴェル / ラ・ヴァルス
料金 S:2,500円 / A:1,500円
TEL ジュニア・フィルハーモニック・オーケストラ 03-3748-5441

G 12日(水) 19:00開演 無料

一般財団法人東京都人材支援事業団公益事業
「小朝 meets モーツァルト」

出演 井田勝大(Cond) / 春風亭小朝(お話) / 金山京介(Ten) /
針生美智子(Sop) / 萩原 潤(Bar) / 東京交響楽団
曲目 モーツァルト / アイン・クライン・ナハトムジークより第1楽章、
交響曲第25番、歌劇『魔笛』より「序曲」「アリア」、
交響曲第40番より第1楽章
料金 無料(要往復ハガキまたはインターネット事前申込。
7月13日必着。インターネット申込みは同日17時まで)
TEL 「東京都人材支援事業団公演」事務局 0120-627-513

H 15日(土) 18:30開演 BOX

ハートフルコンサート2015

出演 尾高忠明(Cond) / 黒柳徹子(お話) / 東京フィルハーモニー交響楽団
曲目 スッペ / 喜歌劇『軽騎兵』序曲
ポロティン / 歌劇『イーゴリー公』より「ダッタン人の踊り」
佐藤 真 / 『土の歌』より「大地讃頌」
ペルリオース / 歌劇『ファウストの拷問』より「ラコッツィ行進曲」
シベリウス / フィンランディヤ ほか
料金 S:6,200円 / A:5,100円 / B:4,100円 / C:3,600円
TEL 東京フィルチケットサービス 03-5353-9522

I 16日(日) 13:30開演

平和祈念コンサート 終戦から70年
～平和を祈り、明日へ語り継ぐ旋律(うた)～

出演 志村健一(Cond) / 加藤登紀子(スペシャルゲスト) /
東京室内管弦楽団 / ほか プロ・アマ音楽家有志
曲目 パーバー / アダージョ
久石 譲 / 映画『紅の豚』より
百万本のバラ ほか
料金 S:2,500円 / A:2,000円 /
障害者・子供(4才以上小学生まで):1,000円
TEL 一般社団法人東京室内管弦楽団 03-6459-0316

東京芸術劇場ホームページ www.geigeki.jp

お問合せ 東京芸術劇場
ボックスオフィス **0570-010-296** 休館日を除く
10:00～19:00
BOX 東京芸術劇場ボックスオフィスにてチケットお取り扱いのある公演

休館日 10日(月)・11日(火)

休館日の施設のご利用案内及びお電話でのお問合せ受付は行っておりません。
また、館内店舗(一部店舗を除く)は閉店しておりますのでご了承下さい。
※原則未就学児のご入場はお断りしています。
※プログラム、出演者等に変更が出る場合がございます。
※最新情報は、各お問合せ先までご確認ください。

M 23日(日) 14:00開演 BOX

読売日本交響楽団
第179回東京芸術劇場マチネーシリーズ

出演 下野竜也(Cond) / アンドレアス・ブランテリド(Vc) /
読売日本交響楽団
曲目 ドヴォルザーク / チェロ協奏曲、交響曲第8番
料金 S:7,200円 / A:5,100円 / B:4,100円 / C:3,000円 /
ジュニア:1,500円
TEL 読響チケットセンター 0570-00-4390

N 27日(木) 19:00開演 BOX

ジョン・オーウェン=ジョーンズ
コンサート・イン・ジャパン

出演 ジョン・オーウェン=ジョーンズ
曲目 『オペラ座の怪人』より「Music of the night」
『レ・ミゼラブル』より「Bring him home」ほか
料金 S:9,800円 / A:8,800円
TEL 読売新聞文化事業部 03-3216-8500

O 28日(金) 18:00開演 BOX

第29回ファミリークラシックコンサート
～ドラゴンクエストの世界～

出演 すぎやまこういち(Cond) / 東京都交響楽団
曲目 すぎやまこういち / 交響組曲『ドラゴンクエストVIII』
空と海と大地と呪われし姫君
料金 S:5,000円 / A:4,000円 / B:3,000円
TEL エラート音楽事務所 075-751-0617

Playhouse

A ~2日(日) BOX

英国ロイヤル・オペラ・ハウス版
兵士の物語

音楽 イゴール・ストラヴィンスキー 原作 アファナシェフ 脚本 ラムゼース 演出・演出 ウィル・タケット
出演 アダム・クーパー(兵士) / ラウラ・モレーラ(女王) / サム・アーチャー(悪魔) / アレクサンダー・キャンベル(ストーリー・テラー)
料金 【全席指定】12,000円 / U-25チケット:6,000円 ※チケットぴあにて前売り販売のみのお取扱い。観劇時25歳以下対象・当日指定席券引換・要身分証明書
TEL 株式会社バルコ 03-3477-5858

8月	1 土	2 日
13:30	●	●
14:00	●	
18:30	●	

B 15日(土)~30日(日) BOX

ミュージカル「100万回生きたねこ」

原作 佐野洋子「100万回生きたねこ」(講談社刊)
演出・振付・美術 インノバル・ピント / アブシャロム・ボラック
出演 成河 / 深田恭子 / 近藤芳正 / 田口浩正 / 石井正則 / 銀粉蝶 / 藤木 孝 ほか
料金 【全席指定】S:10,800円 / サイドシート:8,500円 ほか
TEL ホリプロチケットセンター 03-3490-4949

8月	15 土	16 日	17 月	18 火	19 水	20 木	21 金	22 土	23 日	24 月	25 火	26 水	27 木	28 金	29 土	30 日
13:00		●						●							●	
14:00							●	●	●		●		●	●		
18:00	●									●					●	
19:00			●			●						●				

Theatre East

A ~2日(日)

「WORLD」

脚本・演出 松崎史也
料金 【全席指定】前売:4,500円 / 当日:5,000円
TEL SP/ACE=Project 090-6142-9077

8月	1 土	2 日
12:00		●
14:00	●	
16:00	●	
19:00	●	

B 8日(土)~9日(日)

noon dance performance
「Parnassus」

料金 【全席自由】4,000円 / 当日学割:3,000円
TEL パレエ団ピッコロ 03-3972-1476

8月	8 土	9 日
15:00	●	●
19:00	●	

C 16日(日) 13:00開演

MIYABI METHOD ハープ・コンサート 2015

出演 松岡みやび ほか
料金 【全席自由】当日:2,000円
TEL 株式会社ミヤビ・メソード 03-6914-3392

D 22日(土)~31日(月) BOX

「気づかいルーシー」

原作 松尾スズキ 脚本・演出 ノゾエ征爾 出演 岸井ゆきの / 栗原 類 / 川上友里(はえぎわ) / 山口航太(はえぎわ) / 山中 崇 / 小野寺修二 演奏 田中 馨 / 森 ゆに
料金 【全席指定】大人:4,000円 / こども(高校生以下):1,000円 / セット券(大人1枚、こども1枚):4,200円 / 65歳以上:3,000円 / 25歳以下:2,000円
※65歳以上、25歳以下、セット券は劇場ボックスオフィスにて前売のみ取扱い。(年齢制限チケットは枚数限定、要証明書)
※3歳未満のお子様はご入場いただけません。
TEL 東京芸術劇場ボックスオフィス 0570-010-296

8月	22 土	23 日	24 月	25 火	26 水	27 木	28 金	29 土	30 日	31 月
11:00										●
15:00		●								
17:00	●									
19:00			●		●	●	●	●		

◎=視覚障害者のための「舞台説明会」、
聴覚障害者のための
「ボータブル字幕提供」実施(要予約)

Theatre West

A ~2日(日) BOX

「ディストピア西遊記」

演出 大関 真
料金 【全席指定】前売:4,000円 / 当日:4,500円
TEL SETインフォメーション 03-6433-1669

8月	1 土	2 日
13:00	●	●
14:00		
17:00	●	●
19:00		

B 3日(月)~6日(木) Closed・関係者のみ

地域創造フェスティバル2015

C 8日(土)~9日(日)

「Phantom of the Kagetsu-花月園の怪人」stage of steps12

料金 【全席自由】3,500円 TEL スタジオD2 03-3812-1174

D 15日(土) 15:00開演 BOX

Shikenkanbaby 35th capsule 「気がつけば五・七・五」

料金 【全席自由】前売:2,500円 / 当日:3,000円 / 高校生以下:1,500円(予約のみ)
TEL 試験管ペビー 090-6803-4193

8月	8 土	9 日
12:30		●
15:00	●	
16:00	●	
19:00	●	

E 16日(日) 18:00開演

ヒャクマンベンvol. 3
Talking Book

作・演出 茂山童司
出演 茂山正邦 / 茂山逸平 / 茂山童司
料金 【全席指定】3,500円
TEL 童司カンパニー 075-751-9046

F 19日(水)~20日(木) BOX

オックスフォード大学演劇協会(OUDS)来日公演
「ロミオとジュリエット」(英語上演/日本語字幕)

作 ウィリアム・シェイクスピア
演出・出演 オックスフォード大学演劇協会(OUDS)
料金 【全席指定】一般:2,500円 / U-25:2,000円 / 高校生:1,000円
※U-25、高校生チケットは東京芸術劇場ボックスオフィスにて前売のみ取扱い。(枚数限定・要証明書)
TEL 東京芸術劇場ボックスオフィス 0570-010-296

8月	19 水	20 木
13:30		○
18:30	★	★

★=イベントあり
○=アフタートーク

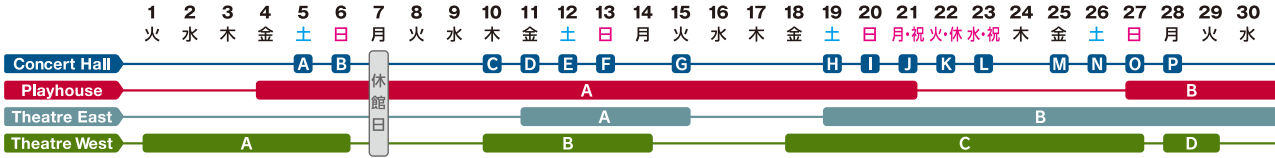
G 25日(火)~9月6日(日) BOX

虚構の劇団 第11回公演
「ホーボーズ・ソング~スナフキンの手紙Neo~」

作・演出 鴻上尚史
出演 小沢達成 / 小野川 晶 / 杉浦一輝 / 三上陽永 / 渡辺芳博 / オレノグラフィティ / 佃井皆美 ほか
料金 【全席指定】前売当日:4,500円
TEL サードステージ 03-5772-7474(平日11:00~18:00)

8月	25 火	26 水	27 木	28 金	29 土	30 日	31 月	1 火	2 水	3 木	4 金	5 土	6 日
14:00					●				●				●
19:00	●	●	●	●	●								

9
SEP



Concert Hall 音楽略号:指揮 (Cond) /ソプラノ (Sop) /メゾ・ソプラノ (M.Sop) /アルト (Alt) /テノール (Ten) /バリトン (Bar) /バス (Bass) /コーラス (Chor) /フルート (Fl) /オーボエ (Ob) /クラリネット (Cl) /

A 5日(土) 14:00開演 BOX

東京芸術劇場 Presents プラスウィーク2015
東京佼成ウインドオーケストラ 第125回定期演奏会

出演 本名徹次 (Cond) / 大茂絵里子 (Mar) / 東京佼成ウインドオーケストラ
曲目 プロコフィエフ / バレエ音楽『ロメオとジュリエット』より
バルトーク / バレエ音楽『中国の不思議な役人』組曲
伊福部 昭 / マリンバとウインド・アンサンブルのための
「ラウダ・コンチェルタータ」
芥川也寸志 / エロラ交響曲
料金 S:6,000円 / A:4,500円 / B:3,500円 / C:1,000円
TEL 東京佼成ウインドオーケストラ事務局 03-5341-1155

B 6日(日) BOX

としま区民芸術祭
秋だ・祭だ・運動会だ!!

■豊島区吹奏楽団演奏会 13:00開演

出演 大釜宏之 (Cond) / 豊島区吹奏楽団
曲目 『となりのトトロ』より
『忍たま乱太郎』より「勇気100%」
伊藤康英 / 抒情的『祭』ほか
料金 一般:800円 / 友の会:500円 / 高校生:500円 /
一般セット券:1,400円 / 高校生セット券:800円 /
中学生以下:無料 (要予約)
TEL としまみらいチケットセンター 03-3590-5321

■豊島区管弦楽団演奏会 18:30開演

出演 和田一樹 (Cond) / 豊島区管弦楽団
曲目 山田耕柝 (石川亮太編) / 赤とんぼ幻想曲
宮川 泰 / 組曲「宇宙戦艦ヤマト」
ハチャトゥリアン / バレエ音楽「ガイヌ」抜粋 ほか
料金 一般:800円 / 友の会:500円 / 高校生:500円 /
一般セット券:1,400円 / 高校生セット券:800円 /
中学生以下:無料 (要予約)
TEL としまみらいチケットセンター 03-3590-5321

C 10日(木) 12:15開演 BOX

東京芸術劇場ランチタイム・
パイプオルガンコンサートVol.113

出演 平井靖子 (Org)
曲目 J.S.バッハ / 前奏曲とフーガ ニ短調 BWV539 ほか
料金 【全席自由】500円
TEL 東京芸術劇場ボックスオフィス 0570-010-296

D 11日(金) 19:00開演 BOX

第18回読響メトロポリタン・シリーズ

出演 シルヴァン・カンブルラン (Cond) / 小曽根 真 (Pf) /
読売日本交響楽団
曲目 ムソルグスキー / 交響詩「はげ山の一夜」(原典版)
ラフマニノフ / バガニーニの主題による狂詩曲
ムソルグスキー (ラヴェル編) / 組曲「展覧会の絵」
料金 S:7,200円 / A:5,100円 / B:4,100円 / C:3,000円
TEL 読響チケットセンター 0570-00-4390

E 12日(土) 14:30開演 BOX

東京ニューシティ管弦楽団 第101回定期演奏会

出演 内藤 彰 (Cond) / 登川直穂子 (Sop) /
東京ニューシティ管弦楽団 / 東京合唱協会 ほか
曲目 ドヴォルザーク / 交響曲第9番「新世界から」
ブッチーニ / 歌劇『蝶々夫人』から
料金 S:6,500円 / A:5,000円 / B:3,500円 / C:2,500円
TEL 事務局チケットデスク 03-5933-3266

F 13日(日) 14:00開演 無料

陸上自衛隊東部方面音楽隊 第64回定期演奏会

出演 陸上自衛隊東部方面音楽隊
曲目 チェザリーニ / 交響詩「アルプスの詩」 ほか
料金 無料 (要往復ハガキによる事前申込)
TEL 東部方面音楽隊 演奏会係 048-460-1711 (内線3640)

東京芸術劇場ホームページ www.geigeki.jp

お問合せ

東京芸術劇場
ボックスオフィス

0570-010-296

休館日を除く
10:00～19:00

BOX 東京芸術劇場ボックスオフィスにてチケットお取り扱いのある公演

ファゴット (Fg) / サックス (Sax) / ホルン (Hr) / トランペット (Tp) / トロンボーン (Trb) / ティンパニ (Timp) / ヴァイオリン (Vn) / ヴィオラ (Vla) / チェロ (Vc) / コントラバス (Cb) / ハープ (Hp) / ピアノ (Pf) / チェンバロ (Cemb) / オルガン (Org)

J 21日(月・祝) 14:00開演 BOX

日本フィルハーモニー交響楽団
サンデーコンサートスペシャル

出演 藤岡幸夫 (Cond) / ソヌ・イエゴン (Pf) / 半田美和子 (Sop) /
鈴木 准 (Ten) / 浅井隆仁 (Bar) /
日本フィルハーモニー協会合唱団 /
日本フィルハーモニー交響楽団
曲目 ラフマニノフ / ピアノ協奏曲第3番
クツー / 聖チェチリア祝日のためのミサ・ソレムニス
料金 S:7,200円 / A:6,000円 / B:5,200円 / C:4,200円 /
Gs:4,200円 / Ys:1,500円
TEL 日本フィルサービスセンター 03-5378-5911

K 22日(火・祝) 14:30開演 BOX

オーケストラと映像で描く
手塚治虫のマンガとアニメの世界

出演 甲田 潤 (Cond) /
高井達雄、杉井ギサブロー、ほか (ブレートクゲスト) /
東京音楽大学 / すみだ少年少女合唱団 /
シンフォニーヒルズ少年少女合唱団 /
芥川也寸志メモリアルオーケストラ・ニッポニカ
曲目 管弦楽ファンタジー『ある街角の物語』(世界初演)、
手塚治虫アニメWORLD、
組曲「展覧会の絵」抜粋 (合唱付)、
子どもの合唱とオーケストラのための組曲「鉄腕アトム」
料金 (一般) S:4,500円 / A:4,000円 / B:3,500円
【友の会】 S:4,000円 / A:3,500円 / B:3,000円
TEL としまみらいチケットセンター 03-3590-5321

L 23日(水・祝)

劇場版魔法少女まどか★マギカ
オーケストラ・コンサート

【前編】始まりの物語、【後編】永遠の物語 13:00開演

出演 志村健一 (Cond) / 東京室内管弦楽団 / 東京混声合唱団 ほか
曲目 劇場版魔法少女まどか★マギカ オーケストラコンサート [前後編]
料金 プレミアムA:8,800円 / プレミアムB:8,800円 / S:6,200円 /
A:5,150円 / B:4,100円
TEL としまみらいチケットセンター 03-3590-5321

【新編】叛逆の物語 18:00開演

出演 志村健一 (Cond) / 東京室内管弦楽団
曲目 劇場版魔法少女まどか★マギカ オーケストラコンサート [新編]
料金 プレミアムA:8,800円 / プレミアムB:8,800円 / S:6,200円 /
A:5,150円 / B:4,100円
TEL としまみらいチケットセンター 03-3590-5321

M 25日(金) 18:30開演 BOX

The 6th WORLD PEACE
CLASSIC CONCERT
～華麗なる協奏曲のタベ～

出演 新田 孝 (Cond) / 伊藤 維 (Vn) / 森岡 薫 (Pf) /
瀬尾真喜子 (Pf) / 佐藤容子 (Sop) / NIPPON SYMPHONY
曲目 チャイコフスキー / ヴァイオリン協奏曲、ピアノ協奏曲第1番
ラフマニノフ / ヴォカリーズ、ピアノ協奏曲第2番
料金 SS:7,000円 / S:6,000円 / A:5,000円 / B:4,000円
TEL ニッポン・シンフォニー 090-6927-3447

休館日 | 7日(月)

休館日の施設のご利用案内及びお電話でのお問合せ受付は行っておりません。
また、館内店舗(一部店舗を除く)は閉店しておりますのでご了承下さい。
※原則未就学児のご入場はお断りしています。
※プログラム、出演者等に変更が出る場合がございます。
※最新情報は、各お問合せ先までご確認ください。

N 26日(土) 14:00開演 BOX

東京芸術劇場 Presents プラスウィーク2015
東京吹奏楽団 第62回定期演奏会

出演 フィリップ・スパーク (Cond) / 立教大学グリークラブ /
東京吹奏楽団
曲目 スパーク / 東京吹奏楽団委嘱作品 (世界初演)、
ウィズ・クラウド・ディセンディング (日本初演)、
ベートーヴェンの表歌～カノン「人生を楽しめ」による幻想曲、
ファンファーレ・フォートウキョウ、オリエント急行、ジュビリー序曲、
ウィークエンド・イン・ニューヨーク
交響曲第2番「サヴァン・シンフォニー」
料金 S・Sスパークシート:5,000円 / A:4,000円 / B:2,000円
B:(高校生割引)1,000円 ※東京芸術劇場ボックスオフィス限定販売
TEL 一般社団法人東京吹奏楽団事務局 03-5937-5205

O 27日(日) 12:45開式 事前申込み制

東京芸術劇場 Presents プラスウィーク2015
バンドクリニック中・高生のための楽しい吹奏楽

出演 フィリップ・スパーク (Cond)
講師 大阪市音楽団 / シエナ・ウインド・オーケストラ /
東京佼成ウインドオーケストラ / 東京吹奏楽団
課題曲 スパーク / オリエント急行、陽はまた昇る
料金 500円 (事前申込み制)
TEL 東京芸術劇場事業企画課 プラスウィーク担当
03-5391-2114 ※詳細はHPをご覧ください。

P 28日(月) Closed・関係者のみ

城西大学附属城西中学高等学校
第38回音楽祭

Playhouse

A 4日(金)～21日(月・祝) BOX

「黒蜥蜴(くるとかげ)」

原作 江戸川乱歩
脚本 三島由紀夫
出演 美輪明宏 木村彰吾 中島 歩 / 團 遥香 白川和子 ほか
料金 【全席指定】 S:11,000円 / A:7,500円
TEL 株式会社バルコ 03-3477-5858



Theatre East

A 11日(金)～15日(火) BOX

演劇系大学共同制作VOL.3
「カノン」

作 野田秀樹 演出 野上綱代 出演 オーディションで選ばれた演劇系5大学の学生と新進演劇人
料金 【全席自由】 一般:2,500円 / 大学生:1,500円 / 高校生:500円 (前売・当日 同一料金)
TEL 『カノン』制作部 080-9676-6238



Theatre West

A ～6日(日) BOX

虚構の劇団 第11回公演
「ホーボース・ソング～スナフキンの手紙Neo～」

作・演出 鴻上尚史
出演 小沢道成 / 小野川晶 / 杉浦一輝 / 三上陽永 / 渡辺芳博 /
オレノグラフィティ / 佃井皆美 ほか
料金 【全席指定】 前売当日:4,500円
TEL サードステージ 03-5772-7474 (平日11:00～18:00)



B 10日(木)～14日(月) BOX

「逆鱗アンドロイド」

作・演出 米山和仁
出演 小玉久仁子 / 加藤 敦 / 山崎雅志 / 齋藤陽介 / 齋藤美和子 ほか
料金 【全席指定】 プレミアムシート:10,000円 (前売のみ)
前売…S:5,500円 / A:4,500円
当日…S:5,800円 / A:4,800円 / 学生:2,500円
TEL バレット 080-5498-7854



B 27日(日)～10月12日(月・祝) BOX

「CHESS THE MUSICAL」

原案・作詞 ティム・ライス
作曲 ベニー・アンダーソン、ビョルン・ウルヴァース (ABBA)
演出・訳詞 萩田浩一 音楽監督 島 健
出演 安間けい / 石井一孝 / 田代万里生 / 中川晃教 (五十音順)
料金 【全席指定】 S:12,000円 / A:10,000円 / B:8,000円 / U25:5,000円
TEL 梅田芸術劇場 0570-077-039

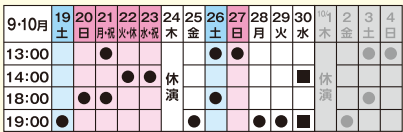


★=アフタートーク (安間けい、石井一孝、田代万里生、中川晃教)

B 19日(土)～10月4日(日) BOX

カタルシツ「語る室」

作・演出 前川知大
出演 浜田信也 / 安井順平 / 盛 隆二 / 大窪人衛 / 木下あかり /
板垣雄亮 / 中嶋朋子
料金 【全席指定】 前売:4,500円 / 当日:4,800円
TEL カタルシツ 03-6303-0521



■=収録のため、客席にカメラが入ります。

C 18日(金)～27日(日) BOX

「人魚姫」

作 寺山修司 / 宇野亜喜良
演出 藤田俊太郎
出演 悠未ひろ / 青野紗穂 ほか
料金 【全席指定】 前売…5,000円 / 学生:3,500円 / 親子:7,000円
当日…5,500円
TEL プロジェクトニクス 03-6312-7031



D 28日(月)～29日(火)

だるま食堂 コントLIVE '15

出演 だるま食堂
料金 【全席指定】 前売当日:3,900円
TEL 夢空間 03-5785-0380



7・8・9
JUL AUG SEP

東京芸術劇場ホームページ www.geigeki.jp

お問合せ 東京芸術劇場
ボックスオフィス **0570-010-296** 〔 休館日を除く
10:00～19:00 〕

Gallery 1 (5F)				
7	～8月9日(日) ※7月6日(月)、27日(月)を除く Gallery 1・2 同時開催 世界報道写真展2015 料金 一般:800円(700円)／学生:600円(500円)／中高生・65歳以上:400円(350円)／小学生以下:無料 ※()は前売料金および20名以上の団体 ※ボックスオフィスでの前売券の取扱いは窓口のみ TEL 東京芸術劇場 03-5391-2111			
	14日(金)～16日(日) 第12回 創書展 TEL 知久 090-3598-9622	19日(水)～23日(日) 第44回 鳴鶴流天溪会書道展 TEL 川村 090-8720-4872	25日(火)～30日(日) 第30回 日本の海洋画展 TEL 一般財団法人全日本海員福祉センター 飯田 03-3475-5391	
9	1日(火)～6日(日) 2015 全日本山岳写真展 TEL 全日本山岳写真協会 杉本 03-3634-8030	9日(水)～12日(土) Gallery 1・2 同時開催 上田菓子と仲間たちのキルト展 TEL 上田 045-895-1877	14日(月)～22日(火・休) Gallery 1・2 同時開催 戦後70年企画 「戦後池袋ーヤミ市から自由文化都市へー」 TEL 立教大学 ESD研究所 03-3985-2686	26日(土)～30日(水) Gallery 1・2 同時開催 第12回 <書統>全国展 TEL 菅原 03-3462-5251
Gallery 2 (5F)				
7	～8月9日(日) ※7月6日(月)、27日(月)を除く Gallery 1・2 同時開催 世界報道写真展2015 料金 一般:800円(700円)／学生:600円(500円)／中高生・65歳以上:400円(350円)／小学生以下:無料 ※()は前売料金および20名以上の団体 ※ボックスオフィスでの前売券の取扱いは窓口のみ TEL 東京芸術劇場 03-5391-2111			
	19日(水)～23日(日) Gallery 1・2 同時開催 第44回 鳴鶴流天溪会書道展 TEL 川村 090-8720-4872	31日(月)～9月6日(日) 第35回 国際書道連盟役員展 TEL 大岩 048-261-5679		
9	9日(水)～12日(土) Gallery 1・2 同時開催 上田菓子と仲間たちのキルト展 TEL 上田 045-895-1877	14日(月)～22日(火・休) Gallery 1・2 同時開催 戦後70年企画 「戦後池袋ーヤミ市から自由文化都市へー」 TEL 立教大学 ESD研究所 03-3985-2686	26日(土)～30日(水) Gallery 1・2 同時開催 第12回 <書統>全国展 TEL 菅原 03-3462-5251	
Atelier East (B1F)				
7	1日(水)～5日(日) Atelier East・West同時開催 大正大学写真同好会SAVOY 学外展示 TEL 江利 080-4355-6721	7日(火)～11日(土) 創作木目込人形展 TEL 羽原 03-3956-6814	17日(金)～22日(水) さんびん「NEW HERO」 料金 前売:2,500円／高校生以下:1,000円 ※当日券各500円増 TEL 制作めざわ 080-5024-0215	25日(土)～26日(日) Atelier East・West同時開催 2015国際児童・青少年演劇フェスティバルおきなわ 料金 大人:2,500円／子ども:1,500円／ フレンドファイブ5,500円(5枚) TEL エーシーオー沖縄 098-887-1333
	28日(火)～8月2日(日) 第6回 ホームシックギャラリー倶楽部 絵画発表会 「できることしか上手くないよ」展 TEL 三須 090-2631-0502			
8	3日(月)～9日(日) 第三空間 Tokyo Parnassus ～谷川俊太郎「愛について」をテーマに～ 料金 一部有料 TEL バレエ団ピッコロ 松崎 03-3972-1476	25日(火)～30日(日) 西池袋から始まる演劇の歴史と実践 ～舞台芸術学院から池袋演劇祭へ～ TEL 豊島区立勤労福祉会館 03-3980-3131	31日(月)～9月6日(日) '15新世紀「板画の会」展 TEL 渡辺 03-3376-4639	
	8日(火)～12日(土) 第11回 日本画 一会の会展 TEL 宮原 03-3371-9631	13日(日)～16日(水) Atelier East・West同時開催 第六回 ART CONFUSE展 TEL 日本美術会 03-5842-5665	17日(木)～20日(日) 第二十六回 泰永書展 TEL 也太奇内 泰永会事務局 03-3332-3701	21日(月・祝)～24日(木) 2015 書 TEN -めざめ- TEL 木原 090-1533-2986
9				25日(金)～30日(水) 第20回 JRP城北支部写真展「ふくろう」 TEL 清水 048-463-3367
Atelier West (B1F)				
7	1日(水)～5日(日) Atelier East・West同時開催 大正大学写真同好会SAVOY 学外展示 TEL 江利 080-4355-6721	7日(火)～12日(日) 色彩のエーテルの中で TEL 永野 080-4373-2045	17日(金)～22日(水) 第44回 くれよん展 TEL 上野 03-3912-4739	25日(土)～26日(日) Atelier East・West同時開催 2015国際児童・青少年演劇フェスティバルおきなわ 料金 大人:2,500円／子ども:1,500円／ フレンドファイブ5,500円(5枚) TEL エーシーオー沖縄 098-887-1333
	29日(水)～8月2日(日) 第4回 キヤノンフォトクラブ 東京DEMI写真展 TEL 石川 090-4669-1131			
8	7日(金)～9日(日) puanani ハワイアンキルト展 TEL 飯田 090-4392-2472	16日(日)～19日(水) 錦花池坊夏季現代いけばな習作展 TEL 加藤 090-8492-9853	20日(木)～24日(月) 煩惱展 TEL 立教大学サバンナ美術クラブ 杉本 080-3305-9539	31日(月)～9月6日(日) 写談 撮んぼ 第10回 写真展 TEL 古谷 03-3487-3435
	8日(火)～12日(土) 東風会 第8回 作陶展 TEL 岸田 0422-43-8394	13日(日)～16日(水) Atelier East・West同時開催 第六回 ART CONFUSE展 TEL 日本美術会 03-5842-5665	21日(月・祝)～24日(木) 第22回 創作者集団アートビックス展 TEL 鈴木 03-3805-5111	25日(金)～30日(水) サロンDEボンドール 会員展 TEL 浜崎 03-5932-1518

東京芸術劇場ボックスオフィス 0570-010-296 （休館日を除く10:00～19:00）

集まれ! 池袋みんなの大道芸

無 料

9月～10月の週末 劇場前広場



ブラックエレファント

一流のストリートパフォーマンスを劇場前広場で

大いに盛り上がったゴールデンウィークの「集まれ! 池袋みんなの大道芸」。選りすぐりのパフォーマーを集め、引き続き9月と10月の週末に開催いたします。ポールやディアボロなどの技を体験できるチャレンジ広場も同時開催! また、6～7月の火・木曜の昼にはストリートパフォーマーのワークショップを開催します。劇場前広場にレベルアップを目指すストリートパフォーマーの姿に会えるかも!

【お問合せ】東京芸術劇場 事業調整係 03-5391-2116

主催:東京芸術劇場(公益財団法人東京都歴史文化財団)

世界報道写真展2015

有 料

6月27日(土)～8月9日(日) ギャラリー1・2 (5F) ※7月6日(月)、27日(月)を除く

詳細はP15へ



自然の部 単写真2位 アミ・ヴィタール(アメリカ、ナショナルジオグラフィック誌)

世界で起きている現実をとらえた写真が池袋に集結

毎年オランダで開かれている「世界報道写真コンテスト」。今年も5,692人のプロカメラマンから10万点近い応募があり、41人が入賞しました。入賞作品を紹介する「世界報道写真展2015」は、同時代を生きる人たちの、普段目にすることが少ない現実を伝える貴重な展覧会です。世界を騒がせたニュースやスポーツの決定的瞬間、失われゆく自然の姿など約150点を東京芸術劇場ギャラリー1・2で展示します。

【お問合せ】東京芸術劇場 03-5391-2111

主催:世界報道写真財団、朝日新聞社

共催:東京芸術劇場・東京都写真美術館(公益財団法人東京都歴史文化財団)

近藤良平・コンドルズ「にゅ～盆踊り」

無 料

7月12日(日) 17:00～ 池袋西口公園



撮影:浦井憲志

池袋・夏の風物詩!! 「にゅ～盆踊り」

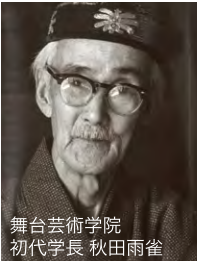
近藤良平・コンドルズと一緒に池袋の街で、盆踊りに参加しませんか? 毎年大好評の「にゅ～盆踊り」、コンドルズならではの愉快な仕掛けも満載です。さあ、今年も皆さんと一緒に。踊って踊って、池袋の街を盛り上げましょう!

【お問合せ】あうるすぽっと(豊島区立舞台芸術交流センター) 03-5391-0751
<http://www.owlspot.jp>

主催:あうるすぽっと(公益財団法人としま未来文化財団)／豊島区
共催:東京芸術劇場(公益財団法人東京都歴史文化財団)

西池袋から始まる演劇の歴史と実践 ～舞台芸術学院から池袋演劇祭へ～ 無 料

8月25日(火)～30日(日) アトリエイースト (B1F)



舞台芸術学院
初代学長 秋田雨雀

多くの俳優、舞台関係者を輩出し、西池袋に長きにわたり開学する舞台芸術学院を中心とした地域における舞台芸術活動の発展について、関連資料を展示します。29日(土)には13時からアトリエトーク(講師:舞台芸術学院理事 大内三朗)を開催。関連事業として、舞台芸術学院での演劇体験講座も開催します。詳細は下記HPにて。

http://www.toshima-mirai.jp/center/e_kinrou/

【お問合せ】豊島区立勤労福祉会館 03-3980-3131

主催:公益財団法人としま未来文化財団／専門学校舞台芸術学院 共催:東京芸術劇場(公益財団法人東京都歴史文化財団)／豊島区舞台芸術振興会

戦後70年企画「戦後池袋ーヤミ市から自由文化都市へー」 無 料

9月14日(月)～22日(火・休) ギャラリー1・2 (5F)



戦争により焼け野原となった池袋にはくヤミ市>と呼ばれるマーケットがつくれ、復興や人々の生活再建を支えてきました。本展示では、戦後の新たなる出発の起点となったヤミ市の生活風景、混沌から生まれた多義的な文化を肯定的に検証し、自由文化都市・池袋の未来を考えます。

豊島区郷土資料館／立教学院展示館／旧江戸川乱歩邸 ほか

【お問合せ】立教大学ESD研究所 03-3985-2686

主催:「池袋ー自由文化都市プロジェクト」実行委員会(立教大学／東京芸術劇場(公益財団法人東京都歴史文化財団)／豊島区)

ONE'S
voice

野田秀樹 × アイタイヒト

野田秀樹

思考のプロセス、
ものづくりのプロセス…その限界と可能性

「演劇」と「建築」…まったく異なるフィールドで日本をリードしてきた

ふたりのクリエイターが語る思考のプロセス、ものづくりのプロセスとは？

時代の大きなうねりの中で、世界の注目を浴びながら疾走し続けるふたりが、

今あらためて思うことについて語り合う。

建築家

伊東豊雄

西洋と日本、そして自己との関係性

野田 伊東さんとは2009年度に朝日賞をたまたま受賞して、そのときに初めてお会いしました。その後、昨年の日仏文化シンポジウムでも一緒に、それ以来になりますね。こちらの伊東建築塾はいつ頃から始められたのですか？

伊東 震災の年に立ち上げて今年でちょうど5年目になります。若い人々を対象にした講座と小学3～6年生までの子供たちを対象にした子供塾とでスタートしました。そのくらいの年代の子供たちが面白いのです。前半は「いえ」について、後半は「まち」について学ぶというプログラムです。ところで、以前から伺いたかったのですが、海外でも演劇上演をたくさんしていますが、野田さんの舞台感覚を西洋の方々はどのように受け止めているのでしょうか？

野田 僕は役者から現場に入った部分がありまして（西洋では）身体性がまったく違うということを面白がられますね。「日本の役者は、みんなお前みたいなのか？」などと言われて（笑）。ちょっと変な動きをしたりもするので、特別にそういう訓練を受けているのか、と思われたり。「いや、そんなことはない。僕が典型的な日本の役者だとは思わないでほしい」ときちんとして答えてはいるのですが（笑）。演劇の場合は言語を使うので、やはり国や地域による違いははっきりとあるのですが、建築の世界ではいわゆる国や地域による違いはあるのでしょうか？

伊東 建築の世界では基本的には国や地域による差異はあまりないはずなんです。しかも僕らの世代はいわゆる「戦後モダニズム」つまり欧米の建築はすばらしいものだ、という形で教育され、コルビジエらの薫陶を受け、という形で育ってきましたので、基本的にはいかに向こう（西洋）のものに劣らないものを日本で作り得るのか、ということですとやってきました。が、ある時ふと「実は自分の建築というのは、日本語という言葉そのものなのではないか」と気づき始めたのです。建築を語る際にも日本語は曖昧な言葉遣いと言いますか、物事をはっきり言わないように、言わないようにしているところがありますよね。

野田 その感じはよくわかります。でも、自分の思考を伝える際に、西洋言語で表現するときは、主語をはっきりとさせないといけないし、ぼんやりとは話せないということもありますよね。またそのことによって自分の思考の道筋が明瞭になり、物事が始まるときもある。とはいえ、やはり思考の源は日本語という言葉に依拠しているので、曖昧な言葉遣いでコミュニケーションを取り、逆にそれで意外によい方向にいくときもありますね。

演劇のプロセス、建築のプロセス

伊東 野田さんが演劇を始められたのはいつ頃ですか？

野田 1976年に劇団「夢の遊眠社」を結成しました。

伊東 以前、確か紀伊國屋ホールで一度だけ拝見したことがありまして。

野田 あー、一番ひどい頃ですね（笑）。ただただ舞台上を走り回っていた（笑）。

伊東 その頃と今では言葉に対する感覚とか、変わりましたか？

野田 だいぶ反省しましたので（笑）。当時は言葉をより記号的に使えたというか、言葉と言葉に直接的なつながりがなくても、舞台上で動くことでそれを埋めていたのですが、それが段々と年を重ね、激しく動けなくなっていくと、言葉で埋める作業が少し増えたのかな、とは思います。ただ同時に「テーマはすべてではない」とか「作る過程で試行錯誤を重ね、様々な変化を受け止めながら作品は生み出される」という考え自体は、以前から少しも変わっていないとも思います。



—— 野田さんの作品は、ワークショップなどの協働作業プロセスを経てできています。また伊東さんも建築について「協働性によって生まれる建築であってほしい」とたびたび発言されています。

伊東 僕の場合はチームで作ることにとってもおもしろさを感じています。人から何かを引き出すことに興味があり、自分の図面通りにものができていくことにはあまり喜びはないのです。ひとりで作業すれば洗練はされていくのですが…。様々な人たちからのアイデアを取り込み、協働作業で当初に想像もしなかったものを作り上げていくことに最大の喜びを感じています。

野田 僕は若い頃はそれが苦手で、すべて自分で決めないと気が済まなかったなあ。それが30才過ぎ頃から、パターンに陥っていることに気づき、自分の思考には限界があると思い始めました。萩尾望都さんの『半神』や坂口安吾の『桜の森の満開の下』など原作を下敷きにしたものを書いた頃に決定的に変化していった気がします。その後ワークショップ方式で作業をするようになり、連動による作品制作の可能性を強く感じるようになりました。

伊東 脚本を書かれている時は、演者のことは想像して書かれているのですか？

野田 ケースバイケースですね。まず先に台本があるケースもありますし、台本がない状態でワークショップを始める時もあります。ワークショップで試行錯誤しながら「あっ、これは垂直の物語なんだ」とか「あっ、これは海と陸との行き来の物語にすればいいのかも」などと気づく瞬間が訪れる。火山観測所の物語を書いていた時も、ワークショップをしながら、このテーマが中心になるとおもしろいなと気づいたり。もちろん劇には初日という“締め切り”があるので、リハーサルを経て仕上げる必要はあるのですが。

伊東 そう考えると（演劇の初日というのは）建築で言うコンペの締め切りみたいなものかなあ。

野田 なのに僕にとってワークショップは制作の大切なプロセスです。劇作家の中には「ワークショップはやらない。自分ですべてを組み立てないと世界は構築できない」と考える人ももちろんいます。劇作家としては、つまり書くということだけであれば、そういうこともあり得ると思うのですが。演出がおもしろいと思うのは、空間に対する喜びや関心があるからだと思うんです。若い頃は「演劇は空間である」ということにあまり意識的ではなかった。むしろ言葉と身体の関係ばかりに気を取られていた気もします。

—— 建築でもワークショップというものはありますか？

伊東 設計時にスタッフと行うミーティングが、ワークショップに一番近いかも知れませんが。1～2週間ごとにスタッフ皆で集まり「ああこうだ」と議論をします。その時に若い人が言った一言から着想を得て、そこから模型を作っ

たり展開したりということを繰り返す。紆余曲折があり、思わぬ発見があり作品が形を成していく。

野田 僕の場合は、実際、ワークショップとリハーサルには明快な線引きはありません。1〜

2週間くらいはワークショップ的な試行錯誤があり、それ以降はしっかり方向を定めてやっていく感じです。

伊東 設計でも、ある程度方向性が決まったら実際図面作成に入り完成させます。ただ、コンペに図面を提出してからでも、ほんとうは良くないのですが、なんとかいかくぐってできれば変更修正を加えていきたい、ということばかり考えています(笑)。

野田 提出した図面を後でひっくり返すなんていうこともありましたか？

伊東 昔はありました。でも今はもうそんな乱暴なことはできなくなりました。「変更は悪だ!」という、とても窮屈な時代になってしまいました(笑)。

——— ところで、伊東さんは舞台美術も手掛けておられますよね。

伊東 以前、松本市で子供のための『フィガロの結婚』の舞台美術をやらせていただいたことがあります。ふだん演劇をあまり見ていない人間なので、実際に何をどうしたらいいのかわからないんです(笑)。『フィガロ〜』の時は、演者達がステージの後ろから出てきて、舞台、オケピ、客席がつながる渦巻き状の道のような舞台美術を考案しました。

野田 メビウスの輪のようなおもしろいセットですね。

伊東 建築によって空間が仕切られ



松本市 サイトウ・キネン・フェスティバル 青少年のためのオペラ「フィガロの結婚」舞台美術

てしまうことをいつも辛いと感じていて、そうではなくて、ものどものとの関係を曖昧にし、そしてつなげていくことに強い関心があるのです。今手掛けている台湾の台中国立歌劇院というプロジェクトも複数の劇場空間がつながっているイメージで設計しました。来年初めオープンの予定です。元々はヨーロッパ



連日多くの人で賑わう台中国立歌劇院前広場



台中国立歌劇院エントランスホール

野田 これ、いいですね!

パの運河沿いの街のホールのコンペで「落選してもいいから、建物の中に入ってもまだ外にいるような、そんな建築を作ろうよ」と発案し、洞窟の連続体のような建築を提案しました。残念ながら不採用でしたが、台中国立歌劇院はそのアイデアの応用で10年がかりでようやく完成しそうです。こういう大きなプロジェクトはこれを最後にして40年の区切りをつけようと思っています。

震災後の東京、アジア、そして地方の可能性

——— 伊東さんの中での変化、新しいものを取り入れていく時のバランスはどのように考えていらっしゃいますか？

伊東 僕にとって東日本大震災はとても大きな影響がありました。震災後、被災地に通い詰めたのですが、結局僕らが提案したものは「みんなの家」を除くとまったくと言っていいほど実現せず、ただ被災地の人たちと一緒にものを作ることはいまだに自分にとって大きなテーマになっています。世界中の都市がみな似通ってきてしまっているように感じている今、これからはもっともっと地方に目を向けていきたいと考えています。

野田 被災地での様々な提案や活動が思うようにいかない原因や理由はどこにあるとお考えですか？

伊東 地方の人たちはみなエネルギーに満ち溢れ、人間関係も大切にしています。たとえば僕が関わった釜石市の話をしますと「(釜石は)ほかの町とは違う」ことが実現できるのではないかと考え、ふだん公園利用もできるよう

な防潮堤を考案しました。高さ十数メートルの防潮堤をつくるのならば、その斜面を使ってラグビー・スタジアムのスタンドを兼ねるという提案もしました。でもやはり行政には充分には理解していただかず結局実現はしませんでした。とても残念でした。

野田 昨今のこの国は基本的に“デザイン”ということに対するリスペクトが薄い気がします。概して日本の公共建築は、建物もインテリアも「なんでこんなもの使うんだろう」というものが多い(笑)。「こんなデザインの部屋やインテリア空間で、いいアイデアなんて出る訳ないよ(笑)とよく思いますね。「会議するためなのだから、無機質な部屋に四角いテーブルを置けばいいんだ」みたいな感じがどうしてもしてしまう。江戸時代とか、まず“デザイン”自体がすばらしいじゃないですか? それがある時期からなぜかおかしな方向にきてしまっている。“デザイン”ということを軽視してどんどんモノを作っていくてしまったことが文化をつまらなくしている気がします。

伊東 ヨーロッパでは、とにかく町の人もみな“デザイン”に関心を持ってくれる。その関心のレベルが違うんですね。日本という国はモノを作る技術は世界最高水準で、精度の高いものを作る職人もたくさんいるのですが、できるだけ早くトラブルなく作ってしまおうとばかり考えていることが問題かも知れませんね。

——— 優れたデザイン力や文化、歴史の厚みを有する日本が、なぜ今そうした状況になってしまっているのでしょうか？

伊東 僕が危惧していることのひとつは、どの町も、建物もみな均質に見えてしまうことです。個性的な町にできる可能性があるのに、どこも同じようにしないと予算もつかない。そうして非個性的な似たような町ばかりができてしまう。台湾などでは、台北、台中、高雄はお互いにいつも張り合っていてそれがダイナミズムを生んでいる。台中国立歌劇院などもそうした意思の結実かと思います。

野田 80年代に劇団でツアーをしていた頃から、すでに地方都市含め日本は均質化しているという印象を受けました。ツアー中も仙台にいるのか岡山にいるのかわからなかったりして(笑)。オリンピックにしても「ロンドンのオリンピックが良かったから、ロンドンみたいなオリンピックにしよう」などと発想してしまう。そうではなく「ロンドンは良かったけど、それとは違うオリンピックを模索しよう」という発想こそが大切。違うことにトライすることの方がむずかしいけれど価値があると思います。

伊東 実はパプルの頃の東京がとても好きでした。江戸の元禄時代のような活気があり、新宿なんかほんとうに面白かった。毎晩のように飲み歩いていました(笑)。

野田 同じく(笑)。個性やデザインをリスペクトし、もっとダイナミズムが生み出されるといいですね。

伊東建築塾にて
モデレーター・文:前田圭蔵(編集部) 写真:渡部孝弘
協力:伊東豊雄建築設計事務所/NPOこれからの建築を考える 伊東建築塾

今回のアイタイヒト

伊東豊雄 TOYO ITO

いとう・とよお 1941年生まれ。主な作品に「せんだいメディアテーク」「多摩美術大学図書館」(八王子)など。現在、「台中国立歌劇院」(台湾)などが進行中。ヴェネチア・ビエンナーレ金獅子賞、王立英国建築家協会(RIBA)ロイヤルゴールドメダル、プリツカー建築賞など受賞。2011年に私塾「伊東建築塾」を設立。児童対象の建築スクールや、地方の島のまちづくりなど、これからのまちや建築を考える建築教育の場として様々な活動を行っている。

野田秀樹 HIDEKI NODA

のだ・ひでき 劇作家・演出家・役者。東京芸術劇場芸術監督。1976年「劇団 夢の遊戯社」を結成、92年に解散。ロンドン留学を経て93年、NODA・MAP設立。『キル』『パンドラの鐘』『オイル』『THE BEE』『ザ・キャラクター』『エッグ』『MIWA』など次々と話題作を発表。歌舞伎「野田版 研辰の討たれ」「野田版 鼠小僧」の脚本・演出を手掛けるほか、海外の演劇人とも積極的に作品を創作。2015年2月〜4月東京、パリ、大阪、北九州で上演した『エッグ』が大変好評を博し、さらに5月〜6月、10月〜11月、井上道義×野田秀樹「フィガロの結婚」〜庭師は見た!〜、を野田の新演出により、金沢、大阪、兵庫、高松、川崎、東京、宮城、山形、宮崎、熊本の全国10カ所にて上演するなど、演劇界の旗手として国内外を問わず精力的な活動を展開し続けている。

全国共同制作プロジェクト

モーツァルト／歌劇『フィガロの結婚』〜庭師は見た!〜 新演出
(全4幕・字幕付 原語&一部日本語上演)

指揮・総監督:井上道義 演出:野田秀樹

開館25周年／芸術フェスティバル 東京芸術劇場シアターオペラvol.9

10月24日(土)・25日(日) 14:00開演 コンサートホール

詳細は劇場HPIにて／東京芸術劇場▶www.geigeki.jp/

【秋期・他会場公演】

10月29日(木)山形テルサ テルサホール 11月1日(日)名取市文化会館 大ホール

11月8日(日)メディキット県民文化センター(宮崎県立芸術劇場)

11月14日(土)熊本県立劇場 演劇ホール

共同制作: (公財)金沢芸術創造財団／兵庫県立芸術文化センター／(公財)高松市文化芸術財団／
ミュージアムシンフォニーホール(川崎市文化財団グループ)／東京芸術劇場(公財)東京都歴史文化財団／
(一財)山形市都市振興公社／(公財)名取市文化振興財団／(公財)宮崎県立芸術劇場／(公財)熊本県立劇場／
(公財)石川県音楽文化振興事業団(オーケストラ・アンサンブル金沢)／(公財)東京交響楽団／(公財)読売日本交響楽団／
(公社)山形交響楽協会／(公財)九州交響楽団



HIDEKI NODA × TOYO ITO

Interview

東京芸術劇場館長 荻田 伍

都市型劇場として ますます発展させていきたい。

2015年4月よりアザヒグループホールディングス株式会社相談役である
荻田 伍氏が東京芸術劇場の新館長に就任。現在の思いを語っていただきました。

Q 東京芸術劇場館長就任おめでとうございます。“芸劇”の印象はいかがですか？

まずは池袋西口という立地がいいですね。これは多機能・多目的に使われる都市型劇場として必要な条件。ホールはもちろんですが、ギャラリーやアトリエなど、いろいろな使い方ができるスペースがあるところもいいですね。それと、スタッフが若くて元気があるという印象を受けています。

Q 抱負を教えてください。

先に述べたようなこの劇場のアドバンテージをどれだけ活かせるか、ということになると思います。つまり、こどもたちを含めた一般の人たちに、文化や芸術により多く触れてもらい、文化的交流の場として活用していただける施設になるということです。また、東京都民はもちろん、特に地域社会に根差した劇場としての役割を果たし、豊島区をはじめ、立教大学など近隣教育機関や

企業、住民などの皆様とともにコミュニティの発展にも一層寄与していきたいと考えています。これから2020年の東京オリンピック・パラリンピックに向け、スポーツだけではなく、芸術や文化のグローバルな交流もますます盛んになっていく。そのときに、東京芸術劇場が情報発信の拠点になることができるといいですね。

Q 劇場に足を運ぶ側から、お迎えする側になります。どのような劇場であるべきだと思いますか？

いつも、劇場全体が清潔で安全な場所でありたいと思います。それと、働く人たちがどういう思いでお客様を迎えるのか、つまり、スタッフの音楽や演劇に対する愛がその場所の雰囲気を作ると思うので、職員たちにはそのことを常に意識してほしいと考えています。

Q これまで観た芝居やコンサートの中で、特に印象に残っているものはありますか？

演奏会が好きなのですが、最近足を運んだ中では、ピアニストの辻井伸行さんのコンサートや、井上道義さん指揮のオーケストラ・アンサンブル金沢による公演はとてもよかったですね。劇場に行くと、元気をもらったり、ストレスの解消になったりと、毎回少なからず刺激を受けています。そしてこのことこそが、文化・芸術の一番の価値なのではないかと思います。

Q 最後に読者へのメッセージをお願いします。

私は仕事で海外へ行くことも多いのですが、そのたびに「もっと日本の芸術について知っておくべきだ」と感じます。ですから皆さんにも、日本の伝統芸能のようなものから、新しい文化や芸術まで、興味を持って積極的に触れていただきたいと思っています。そのときにこの東京芸術劇場がお役に立てるなら、これ以上の喜びはありません。

INFORMATION

■鑑賞サポートのご案内

東京芸術劇場では、目や耳が不自由な方を対象に舞台説明会・ポータブル字幕機提供サービス(無料・要事前申込)を実施しています。

7月～9月対象公演

「cocoon」「障子の国のティンカーベル」「気づかいルーシー」

【お問合せ】東京芸術劇場 ボックスオフィス 0570-010-296

■東京芸術劇場 新託児施設“だっこルーム”について

劇場をご利用のお客様を対象に、託児サービス(有料・要事前申込)がごございます。【お問合せ】小学館集英社プロダクション 03-3981-7003(平日10:00～17:00)

■劇場広報誌BUZZへの掲載広告募集!

【お問合せ】東京芸術劇場 広報営業係 03-5391-2117

中部電力グループ



快適以上を、世の中へ。

TOENEC

電気設備

空調管設備

情報通信

省エネ住宅設備

エコソリューション

株式会社 トーエネック

東京本部／東京都豊島区巣鴨1-3-11 〒170-0002 TEL.03-5395-7111

www.toenec.co.jp

おいしい感動を召し上がれ。

庶民的なイメージのお好み焼きをディナーへと発展させた千房だからお召し上がり頂ける本物の味をどうぞお近くの千房で。

千房 CHIBO OKONOMIYAKI

10% OFF

下記店舗にて本誌ご提示で
ご飲食代より10%割引いたします。
※割引上限3,000円までとさせていただきます。

東京芸術劇場より徒歩2分!
有楽町線池袋駅直結!

Esola池袋支店
TEL:03-3986-0070
東京都豊島区西池袋1-12-1
Esola池袋7階

ふれじんと銀座コリドー店
TEL:03-5537-6200
東京都中央区銀座7-2番先
銀座コリドー街 B-08

ふれじんと広尾店
TEL:03-6408-5230
東京都港区南麻布5-15-25
広尾六幸館2階

有楽町ビックカメラ支店
TEL:03-5288-8570
東京都中央区有楽町1-11-1
有楽町ビックカメラ6階

恵比寿ガーデンプレイス支店
TEL:03-5424-1011
東京都渋谷区恵比寿4-20-3
恵比寿ガーデンプレイスタワー3-8階

そこう横浜店
TEL:045-465-5954
神奈川県横浜市西区高島2-18-1
そこう横浜店10階

キュービックプラザ新横浜支店
TEL:045-475-9720
神奈川県横浜市港北区新横浜2-100-45
キュービックプラザ1階ぐるめストリート

そこう千葉店
TEL:043-203-8580
千葉県千葉市中央区新町1000
そこう千葉店10階